授業計画表

愛玩動物看護師　科　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物形態機能学	**教員名**	谷口和美
科目時間数：	120 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ 実習

必修・選択の別： [✓ 必修]・選択
配当学年： 1
開講時期： [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物の生命維持の仕組みと、解剖学及び生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

解剖学では動物体の構造について、生理学では動物体の機能について学習する。動物病院の臨床において、あらゆる診療知識や技術の基本となるのが解剖学と生理学であり、また、内科学及び外科学などについて理解する際にも解剖学や生理学の知識は必要不可欠であり、それらを正しく理解し、診療チームとしてより有効な動物看護ができることを目指す。

〔授業における達成課題〕
動物病院においての診療対象は主に犬や猫であるため、特にその内容を基本に解剖学及び生理学の理解を深める。
筆記試験での正答が60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有] ・ 無

【内　容】

動物病院で獣医師としての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示し実行する。

科目名 動物形態機能学	科目時間総数 24 時間	教員名 谷口和美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	形態機能概論①	解剖生理学を学ぶために自然界における動物を理解する
2 回	形態機能概論②	解剖生理学の基礎知識として細胞について理解する
3 回	形態機能概論③	解剖生理学を学ぶために細胞の構成成分である化学物質について理解
4 回	形態機能概論④	細胞内で行われる合成とエネルギー成分について理解する
5 回	形態機能概論⑤	細胞の増殖と染色体について学ぶ
6 回	形態機能概論⑥	上皮組織、筋組織の概要と統合組織について理解する
7 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能①	体の区分、体腔、胸腔にある臓器の種類と位置、腹腔にある臓器の種類と位置について理解する
8 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能②	生命維持システム、運動・調整システム、細胞膜で行われる拡散と浸透、ナトリウムポンプについて理解する
9 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能③	心臓の構造と機能、動脈と静脈、大循環、小循環について理解する
10 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能④	肺の構造、外呼吸、内呼吸、肺におけるガス交換について理解する
11 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能⑤	消火器系全体の構造、消火器系全体の機能、消火器系全体の蠕動運動、犬猫の盲腸の特徴について理解する
12 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能⑥	泌尿器系全体の構造と機能、尿生成の機序やの尿生成以外の腎臓の機能、膀胱について理解する
13 回	比較解剖　犬と猫の体の構造と機能⑦	生殖器全体の構造、犬と猫の雄の副生殖腺、犬と猫の子宮の構造、犬と猫の排卵について理解する
14 回	比較解剖 トリの体の構造と機能①	鳥類の骨格系の構造、特徴、感覚器・鳥類の呼吸器系、循環器系などを学ぶ。肺胞、横隔膜が無いことやガス交換について理解する
15 回	比較解剖 トリの体の構造と機能②	鳥類の消火器系、泌尿器科系、生殖器系の構造、総排泄腔、雌の卵巣、子宮の発達は左側のみを理解する
16 回	比較解剖 ウサギの体の構造と機能	ウサギの筋骨格系、消火器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系の構造、発達した盲腸、釘歯子宮の特徴、新生子について理解する
17 回	比較解剖 ネズミ亜目の体の構造と機能	ネズミ亜目ネズミ科の動物、キヌゲネズミ科の動物、ハムスター、スナネズミの臭腺、シリアンハムスターについて理解する
18 回	比較解剖 ヤマアラシ亜目の体の構造と機能	モルモット、チンチラの体の構造について理解する
19 回	比較解剖 フェレットの体の構造と機能	フェレットの体の構造について理解する
20 回	比較解剖 爬虫類の体の構造と機能	カメ・トカゲ・ヘビの体の構造について理解する
21 回	比較解剖　産業動物の体の構造と機能①	反芻の体の構造について理解する
22 回	比較解剖　産業動物の体の構造と機能②	ブタ・草食動物の体の構造について理解する
23 回	比較解剖 魚類の体の構造と機能	魚類の体の構造について理解する
24 回	比較解剖 犬と猫の骨格系	犬、猫の骨格系を理解する
25 回	循環器系の構成①	体内にある循環器系の構成を理解する
26 回	循環器系の構成②	心臓の位置と外形、４つの部屋と４つの弁、ポンプとしての役割、構造面を理解する
27 回	循環器系の構成③	冠状血管系、冠状循環、心臓に分布する神経を理解する
28 回	心臓の生理的機能①	心臓の自動性と歩調、興奮の伝達、リズムの変化と潜在的歩調を理解する
29 回	心臓の生理的機能②	心電図の導出、記録される波形、波形異常を理解する
30 回	心臓の生理的機能③	心拍出量と血圧の調整、心周期、心音と雑音、大動物と小動物の心拍数の違いを理解する

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	末梢循環器系の構造①	血管の構造、毛細血管、臓器等による毛細血管の違い、側副循環と吻合、毛細血管の体温調節、物質交換の機序、浮腫を理解する
32回	末梢循環器系の構造②	静脈の構造、静脈弁と筋ポンプ、体循環としての静脈と門脈について理解する。肺動脈、肺静脈を流れる血液を理解する。
33回	末梢循環器系の構造③	大動脈の分岐、横隔膜を通過する大動脈、大腿動脈の位置と脈拍の触知について理解する
34回	血液の循環の調整①	心臓の生理的機能、血圧、血圧の変化を理解する
35回	血液の循環の調整②	レニンーアンデオテンシン系、ノルアドレナリン、グルココルチコイド、アドレナリンを理解する
36回	リンパとリンパ管①	リンパ管の分布と血管分布、リンパ液、リンパ節、胸管を理解する。リンパ循環と胸管の関係、悪性腫瘍の転移を理解する。
37回	リンパとリンパ管②	胸線の位置、年齢による胸線の違い、胸線の機能を理解する。脾臓の位置、血液循環、機能を理解する。
38回	呼吸器の構造①	鼻、鼻腔、咽頭や咽頭における咽頭蓋の機能を理解する
39回	呼吸器の構造②	気管、気管支、肺、気管綸、肺葉の構造、動物種による肺葉数の違いを理解する
40回	呼吸器系の動き①	呼吸器系の機能、呼吸器系のおける血液の機能を理解する。内呼吸、外呼吸を理解する
41回	呼吸器系の動き②	気道の細胞と異物の排出、クララ細胞、肺胞を理解する
42回	呼吸器系の動き③	呼吸のメカニズム、呼吸筋と肺の収縮、せき、くしゃみ、しゃっくり、あくびについて理解する
43回	呼吸器系の動き④	呼吸数と心拍数の運動、換気量、肺活量、残気量を理解する
44回	呼吸器系の動き⑤	肺におけるガス交換、呼気、呼気のガス組成と血液ガスを理解する
45回	呼吸器系の動き⑥	酸素の運搬、酸素解離曲線、二酸化炭素の運搬を理解する
46回	呼吸器系の動き⑦	循環器系の構成、末梢循環器系の構造、肺の血液と血圧、換気と血流の調整、胎子循環を理解する
47回	呼吸器系の動き⑦	呼吸の神経性調達、化学受容器、酸塩基平衡、過換気症候群を理解する
48回	呼吸器系の病態生理	アシドーシスとアルカローシス、換気障害、拡散障害、換気血流比不均衡を理解する
49回	血液①	血液の組成と機能について理解する
50回	血液②	血液の水分と物質輸送、白血球の機能、血症板の止血作用を理解する
51回	血液③	赤血球の数、血色素ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット、哺乳類の赤血球の特徴を理解する
52回	血液④　（赤血球）	ヘモグロビンの構造、ヘモゴロビンと酸素の結合を理解する
53回	血液⑤　（赤血球）	赤血球を産生とエリスオポエチン、赤血球の破壊方法、動物種による赤血球の寿命、ヘムタンパクからつくられるビリルビンを理解する
54回	血液⑥　（白血球）	顆粒球、好中球、好酸球、好塩基球、犬猫における顆粒球の割合を理解する
55回	血液⑦　（白血球）	単球、リンパ球、マクロファージを理解する
56回	血液⑧　（血小板）	血小板の生成、はたらき、二次止血、止血栓の除去を理解する
57回	血液⑨	タンパク質の種類、グロブリンの種類、物質の運搬、血液凝固への関与、抗体としての役割を理解する
58回	血液⑩	血液凝固因子、プロトロンビンとビタミンK、血液凝固とカルシウムイオン、血液凝固防止剤とワルファリン中毒を理解する
59回	血液⑪	出血時間、凝固時間、繊維素溶解とプラスミン、播種性血管内凝固を理解する
60回	血液⑫	ABO式血液型と複式立遺伝子、Rh式血液型を理解する。犬の血液型、猫の血液型とその割合を理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	血液⑬	赤血球・血漿にある疑集原について学ぶ。交差適合試験の必要性などを理解する。
62 回	血液⑭	犬と猫の輸血における急性溶血反応を理解する
63 回	外部環境からの防御①	皮膚の構造と機能について理解する。皮膚の附属器について理解する。
64 回	外部環境からの防御②	皮膚の血管と神経について理解する。非特異的防御機能について理解する。
65 回	外部環境からの防御③	特異的防御機能について理解する
66 回	外部環境からの防御④	液性免疫と抗体について理解する
67 回	外部環境からの防御⑤	ワクチン接種とアレルギーについて理解する
68 回	外部環境からの防御⑥	生体防御の関連臓器について理解する
69 回	外部環境からの防御⑦	熱の出納について理解する
70 回	外部環境からの防御⑧	恒温動物と変温動物について理解する
71 回	外部環境からの防御⑨	体温調節について、高体温と低体温について理解する。
72 回	まとめ	血液の機能、自己防護について理解する。
73 回	情報の受容と処理①	神経系の構造と機能について理解する。ニューロンでの興奮の伝達について学ぶ。
74 回	情報の受容と処理②	神経系の構造と機能について理解する。中枢神経と末梢神経について学ぶ。
75 回	情報の受容と処理③	中枢神経である脊髄と脳を理解する。灰白質・白質・脊髄の構造・脊髄反射について学ぶ。
76 回	情報の受容と処理④	中枢神経である脊髄と脳を理解する。脳幹の構造と機能、延髄の機能について学ぶ。
77 回	情報の受容と処理⑤	中枢神経である脊髄と脳を理解する。小脳・間脳・視床下部・下垂体について学ぶ。
78 回	情報の受容と処理⑥	中枢神経である脊髄と脳を理解する。大脳・大脳皮質・大脳髄質の構造について学ぶ。
79 回	情報の受容と処理⑦	中枢神経である脊髄と脳を理解する。髄膜・脳脊髄液・血液脳関門について学ぶ。
80 回	情報の受容と処理⑧	脊髄神経と脳神経について理解する。脊髄神経の構造と脳神経12対について学ぶ。
81 回	情報の受容と処理⑨	末梢神経について理解する。体性神経と自律神経について学ぶ。
82 回	情報の受容と処理⑩	末梢神経について理解する。自律神経系の構成・機能、交感神経・副交感神経について学ぶ。
83 回	感覚と情報伝達①	眼の構造と付属器（眼瞼・結膜・涙器・眼筋・タペタム）について理解する。
84 回	感覚と情報伝達②	眼の構造と視覚について学ぶ。視覚機能・遠近調節・明反応と暗反応・眼球運動について学ぶ。
85 回	感覚と情報伝達③	耳の基本的構造・外耳・内耳について学ぶ。
86 回	感覚と情報伝達④	味覚器・嗅覚器の構造について理解する。
87 回	感覚と情報伝達⑤	痛覚について理解する。体性痛と内臓痛、痛みの分類、疼痛の伝達、内因性鎮痛物質について学ぶ。
88 回	からだの支持と運動①	骨格を構成をする骨、骨の組織と組成について理解する。
89 回	からだの支持と運動②	骨の発生と成長、機能、カルシウムの貯蔵、造血について理解する。
90 回	からだの支持と運動③	関節の構造と形状、関節運動の障害、不動性の連結について理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	からだの支持と運動④	筋系の構造、骨格筋、平滑筋、心筋について学ぶ。
92 回	からだの支持と運動⑤	骨格筋の形成、筋膜、赤筋の構造、白筋の構造について理解する。
93 回	からだの支持と運動⑥	骨格筋の神経支配について理解する。
94 回	からだの支持と運動⑦	横隔膜について理解する。
95 回	からだの支持と運動⑧	腹壁を構成する筋について理解する。
96 回	まとめ	情報の受容器としての感覚器について、情報の伝達器としての神経、神経伝達物質と自律神経について学ぶ。筋系骨格系について学ぶ。
97 回	栄養の消化と吸収①	口腔・唾液腺・歯・咽頭・食道について理解する。
98 回	栄養の消化と吸収②	腹部消化管である胃の構造と機能について理解する。
99 回	栄養の消化と吸収③	腹部消化管である小腸の構造と機能について理解する。
100 回	栄養の消化と吸収④	腹部消化管である大腸の構造と機能について理解する。
101 回	栄養の消化と吸収⑤	腹部消化管である膵臓の構造と機能について理解する。
102 回	栄養の消化と吸収⑥	腹部消化管である肝臓と胆嚢の構造・機能について理解する。
103 回	栄養の消化と吸収⑦	腹膜と腸間膜の機能について理解する。
104 回	内臓機能の調整①	自律神経の機能・交感神経・副交感神経の構造・機能について理解する。
105 回	内臓機能の調整②	内分泌について、分泌物の伝わり方とホルモンの特徴について理解する。
106 回	内臓機能の調整③	ホルモンによる調節、生理作用について理解する。
107 回	内臓機能の調整④	ホルモンのフィードバック機能について理解する。
108 回	内臓機能の調整⑤	視床下部と下垂体系について理解する。
109 回	内臓機能の調整⑥	甲状腺の構造と機能について理解する。
110 回	内臓機能の調整⑦	副甲状腺の構造と機能、上皮小体について理解する。
111 回	内臓機能の調整⑧	膵臓（ランゲルハンス島）の構造と機能について理解する。
112 回	内臓機能の調整⑨	副腎の構造と機能について理解する。
113 回	内臓機能の調整⑩	性腺の構造と機能について理解する。
114 回	内臓機能の調整⑪	消化管、腎臓、胎盤などの内分泌線について理解する。
115 回	体液の調整と尿の生成①	腎臓の構造と機能、糸球体について理解する。
116 回	体液の調整と尿の生成②	尿細管の構造と機能について理解する。
117 回	体液の調整と尿の生成③	傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活性物質について理解する。
118 回	体液の調整と尿の生成④	排尿路の構造について理解する。
119 回	体液の調整と尿の生成⑤	尿の貯蔵と排尿について理解する。
120 回	体液の調整と尿の生成⑥	体液の調節について（酸塩基平衡、電解質の異常）について理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物感染症学	**教員名**	大野　楽弥
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1
開講時期：	前期・[✓ 後期]・集中		

〔授業の目的・ねらい〕
犬や猫をはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主に犬や猫に感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、病状について学習し、予防と看護に活かす。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体ついての理解が必要である。感染、発症の定義、感染の成り立ちにちて学習し、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　有　・　[✓ 無]

【内　　容】

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】
毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名	科目時間総数	教員名
動物感染症学	30　時間	大野　楽弥

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	感染・感染症とは	感染、発症、感染症を理解し定義が言えるようになる。
2 回	感染経過	水平感染、垂直感染について理解する。
3 回	宿主の感染防御１	上皮の防御を理解する
4 回	宿主の感染防御２	自然免疫、獲得免疫を理解する
5 回	細菌	細菌の構造を理解する。
6 回	細菌の構造１	細胞壁、細胞質膜を理解する。
7 回	細菌の構造２	細菌質、莢膜を理解する。
8 回	細菌の構造３	鞭膜、線毛、芽胞を理解する。
9 回	細菌の分類	階級的分類、増殖を理解する。
10 回	環境因子１	酸素、水素イオン濃度、温度を理解する。
11 回	環境因子２	塩化ナトリウム、増殖様式を理解する。
12 回	バイオフィルム	バイオフィルムについて理解する。
13 回	細菌の培養と同定	細菌の培養と同定等を理解する。
14 回	培養方法	好気培養、嫌気培養を理解する。
15 回	同定１	分離培養と純培養を理解する。
16 回	同定２	染色法、同定、遺伝的検査を理解する。
17 回	治療	薬剤感受性試験について理解する。
18 回	動物感染症学まとめ	復習と確認テストにより理解を深める。
19 回	動物感染症学まとめ	復習と確認テストにより理解を深める。
20 回	抗菌薬の作用１	細胞壁合成阻害壁について理解する。
21 回	抗菌薬の作用２	タンパク質合成阻害壁について理解する。
22 回	抗菌薬の作用３	核融合成阻害薬について理解する。
23 回	抗菌薬の作用４	補酸素阻害薬について理解する。
24 回	抗菌薬の作用５	細胞学疾病薬について理解する。
25 回	薬剤耐性菌	薬剤耐性菌について理解する。
26 回	菌交代症	菌交代症について理解する。
27 回	薬物アレルギー	薬物アレルギーについて理解する。
28 回	犬猫の主な感染症１	サルモネラ感染症、緑膿菌感染症について理解する。
29 回	犬猫の主な感染症２	パウツレラ症、レプトスピラ症について理解する。
30 回	犬猫の主な感染症３	ブルセラ症、歯周病について理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物看護学概論	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 1	**開講時期：** [✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答が60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　容】
動物病院にて動物看護師として勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験におい正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物看護学概論	科目時間総数 30 時間	教員名 柴野 梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	動物看護の基本となる概念	1）動物看護の目的、概念について理解する
2 回	〃	〃
3 回	〃	〃
4 回	〃	2）獣医療と動物看護の歴史について理解する
5 回	〃	〃
6 回	〃	3）獣医療倫理、動物看護者の倫理綱領について理解する
7 回	〃	〃
8 回	〃	4）動物にとっての健康、福祉、QOL について理解する
9 回	〃	〃
10 回	〃	〃
11 回	〃	5）動物病院における愛玩動物看護師の役割について理解する
12 回	〃	〃
13 回	動物看護の提供体制	1）社会における動物病院の役割について理解する
14 回	〃	
15 回	〃	2）一次診療と二次診療、救急獣医療の役割と連携について理解する
16 回	〃	〃
17 回	〃	3）インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、守秘義務について理解する
18 回	〃	〃
19 回	〃	4）診療録（カルテ）と動物看護記録の作成、保存義務について理解する
20 回	〃	〃
21 回	〃	5）職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法について理解する
22 回	〃	〃
23 回	愛玩動物看護師の社会的立場	1）愛玩動物看護師の職能団体について理解する
24 回	〃	〃
25 回	〃	2）愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、資格認定機関について理解する
26 回	〃	〃
27 回	〃	3）愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体について理解する
28 回	〃	〃
29 回	〃	4）国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて理解する
30 回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	公衆衛生学	**教員名**	古濱　和久
科目時間数：	60　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習

必修・選択の別： [✓ 必修]・選択　　**配当学年：** 1　　**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全に活かせる知識を身に付ける。
環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

公衆衛生は、人と動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わる上でも重要な分野である。また、関連する環境要因と人の健康である疾病予防、病気の早期発見、健康維持および増進に役立てる総合多岐な学科目である。

〔授業における達成課題〕
筆記試験で正答60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物病院で獣医師として勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行をする。

科目名 公衆衛生学	科目時間総数 60　時間	教員名 古濱　和久

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	公衆衛生の目的①	公衆衛生の定義と目的、対象となる領域を理解する。
2 回	公衆衛生の目的②	基本的な活動分野、関連した活動を理解する。
3 回	動物公衆衛生①	人獣共通感染症の定義とその現状を理解する。
4 回	動物公衆衛生②	食品衛生、環境衛生、動物愛護・福祉・管理を理解する。
5 回	動物公衆衛生③	食品衛生、環境衛生、動物愛護・福祉・管理を理解する。
6 回	動物公衆衛生④	食品衛生、環境衛生、動物愛護・福祉・管理を理解する。
7 回	動物公衆衛生⑤	食品衛生、環境衛生、動物愛護・福祉・管理を理解する。
8 回	人獣共通感染症①	パスツレラ症を理解する。
9 回	人獣共通感染症②	パスツレラ症を理解する。
10 回	人獣共通感染症③	ブルセラ症を理解する。
11 回	人獣共通感染症④	猫ひっかき病を理解する。
12 回	人獣共通感染症⑤	サルモネラ症を理解する。
13 回	人獣共通感染症⑥	カプノサイトファーガ感染症を理解する。
14 回	人獣共通感染症⑦	コリネバクテリウム感染症を理解する。
15 回	人獣共通感染症⑧	カンピロバクター症を理解する。
16 回	人獣共通感染症⑨	Ｑ熱を理解する。
17 回	人獣共通感染症⑩	オウム病を理解する。
18 回	人獣共通感染症⑪	皮膚糸状菌症を理解する。
19 回	人獣共通感染症⑫	クリプトコッカス症の特性を理解する。
20 回	人獣共通感染症⑬	スポロトリウムを理解する。
21 回	人獣共通感染症⑭	狂犬病を理解する。
22 回	人獣共通感染症⑮	インフルエンザを理解する。
23 回	人獣共通感染症⑯	SFTSを理解する。
24 回	人獣共通感染症⑰	トキソプラズマ症について理解する。
25 回	人獣共通感染症⑱	エキノコックス症について理解する。
26 回	人獣共通感染症⑲	トキソカラ症について理解する。
27 回	人獣共通感染症⑳	フィラリア症について理解する。
28 回	人獣共通感染症21	瓜実条虫症について理解する。
29 回	人獣共通感染症22	マンソン裂頭条虫症について理解する。
30 回	人獣共通感染症23	ヒゼンダニ症について理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	人獣共通感染症まとめ	主な人獣共通感染症について復習により理解する
32 回	人獣共通感染症まとめ	主な人獣共通感染症について復習により理解する
33 回	人獣共通感染症まとめ	確認テストにより理解を深める
34 回	滅菌と消毒①	滅菌法について理解する
35 回	滅菌と消毒②	火炎菌について理解する
36 回	滅菌と消毒③	乾熱法について理解する
37 回	滅菌と消毒④	高圧蒸気滅菌について理解する
38 回	滅菌と消毒⑤	濾過滅菌について理解する
39 回	滅菌と消毒⑥	滅菌法について理解する
40 回	滅菌と消毒⑦	ガス滅菌について理解する
41 回	滅菌と消毒⑧	放射線滅菌について理解する
42 回	滅菌と消毒⑨	紫外線滅菌について理解する
43 回	滅菌と消毒⑩	煮沸滅菌について理解する
44 回	滅菌と消毒⑪	蒸気消毒について理解する
45 回	滅菌と消毒⑫	消毒薬について理解する
46 回	滅菌と消毒⑬	アルコール消毒薬について理解する
47 回	滅菌と消毒⑭	フェノール消毒薬について理解する
48 回	滅菌と消毒⑮	ハロゲン化合物について理解する
49 回	滅菌と消毒⑯	クロルヘキシジンについて理解する
50 回	滅菌と消毒⑰	界面活性剤について理解する
51 回	滅菌と消毒⑱	アウデヒドについて理解する
52 回	滅菌と消毒⑲	過酸化物について理解する
53 回	滅菌と消毒⑳	色素類について理解する
54 回	滅菌と消毒まとめ	確認テストにより理解を深める
55 回	動物検疫	動物検疫について理解する
56 回	衛生行政と関連法規①	感染症法について理解する。
57 回	衛生行政と関連法規②	検疫法について理解する。
58 回	衛生行政と関連法規③	狂犬病予防法を理解する。
59 回	衛生行政と関連法規④	家畜伝染病予防法を理解する。
60 回	衛生行政と関連法規まとめ	確認テストにより理解を深める

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	人と動物の関係学	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 1	**開講時期：** 前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

人間と暮らす動物たちは、どのように人と関係を築いたのかを理解し、現代の人と動物の関係を思慮する。また、ＨＡＢをベースに、動物が人に与える影響を知り、動物を介する活動について理解を深める。動物を取り巻く現代の問題について、対処法を検討する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

人とペットの歴史　動物の家畜化　動物が人に与える影響　　人と動物の関係学の基盤となる４つの研究　ＡＡＩ活動の目的と開催する上での注意点　　ＨＡＢの理解
現代の問題（殺処分、飼育率、多頭飼育、動物虐待）について　グリーンチムニーズについて

〔授業における達成課題〕

筆記試験において正答が60%以上、動物看護師試験の合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物看護師として動物病院での勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験におい正答が60%以上、授業出席率80%以上

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 人と動物の関係学	科目時間総数 30　時間	教員名 吉田　麻紀

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	人間と動物の関わり	１） 動物の飼養・利用の歴史について理解する
2 回	〃	〃
3 回	〃	〃
4 回	〃	２） 欧米と日本の動物観、動物との関わりの相違について理解する
5 回	〃	〃
6 回	〃	〃
7 回	〃	３） 動物の飼養と利用の現状について理解する
8 回	〃	〃
9 回	〃	〃
10 回	人間の福祉と愛玩動物の関わり	１） 動物虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識について理解する
11 回	〃	〃
12 回	〃	〃
13 回	〃	２） 多頭飼育崩壊（アニマル・ホーディング）について理解する
14 回	〃	〃
15 回	〃	〃
16 回	〃	３） 愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる様々な事情について理解する
17 回	〃	〃
18 回	〃	〃
19 回	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	１） 動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響について理解する
20 回	〃	２） 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容について理解する
21 回	〃	〃
22 回	〃	３） 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適性、行動学的適性について理解する
23 回	〃	〃
24 回	〃	〃
25 回	〃	４） 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に対する動物病院や愛玩動物看護師の関わりについて理解する
26 回	〃	〃
27 回	〃	〃
28 回	〃	５） 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する（文部科学省が道徳教育の一環として認めていることを含む）
29 回	〃	〃
30 回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名　愛玩動物学

教員名　平元　尚人

科目時間数：　60　時間

授業の種類：　[✓ 講義]　・　演習　・　実習

必修・選択の別：　[✓ 必修]・選択

配当学年：　1

開講時期：　[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
犬や猫を始めとする愛玩動物の歴史・品種・血統および飼養管理について、使役動物の歴史と福祉について学ぶ。

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が６０％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	愛玩動物飼養管理士２級テキスト	日本愛玩動物協会

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　容】
ペットショップでの動物取扱責任者として勤務経験がある。畜産研究所で家畜人工授精師としての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が６０％以上、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

次回に授業に向けて教科書を一読など予習することを指示して、実行する。

<table>
<tr><td colspan="2">科目名
愛玩動物学</td><td>科目時間総数
60 時間</td><td>教員名
平元　尚人</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>教育に含むべき事項・テーマ</td><td colspan="2">主な学習内容と到達目標</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>歴史と品種</td><td colspan="2">1）犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適し</td></tr>
<tr><td>2 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>3 回</td><td>〃</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>4 回</td><td>〃</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>5 回</td><td>〃</td><td colspan="2">2）猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適したグルーミングなど）について理解する</td></tr>
<tr><td>6 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>7 回</td><td>〃</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>8 回</td><td>〃</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>9 回</td><td>〃</td><td colspan="2">3）代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について理解する</td></tr>
<tr><td>10 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>11 回</td><td>〃</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>12 回</td><td>〃</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>13 回</td><td>〃</td><td colspan="2">4）血統と血統書について理解する</td></tr>
<tr><td>14 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>15 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>16 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>17 回</td><td>使役動物</td><td colspan="2">1）使役動物（犬、その他の動物）の歴史と福祉について理解する</td></tr>
<tr><td>18 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>19 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>20 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>21 回</td><td>〃</td><td colspan="2">2）補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の歴史と現状について理解する</td></tr>
<tr><td>22 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>23 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>24 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>25 回</td><td>〃</td><td colspan="2">3）補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の役割と育成、適性について理解する</td></tr>
<tr><td>26 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>27 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>28 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
<tr><td>29 回</td><td>〃</td><td colspan="2">4）その他の使役犬（災害救助犬、警察犬、麻薬探知犬、検疫探知犬など）の種類と特徴及び現状について理解する</td></tr>
<tr><td>30 回</td><td>〃</td><td colspan="2">〃</td></tr>
</table>

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	〃	〃
32 回	〃	〃
33 回	愛玩動物の飼養管理	１）犬の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢、社会化訓練など）について理解する
34 回	〃	〃
35 回	〃	〃
36 回	〃	〃
37 回	〃	２）猫の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢など）について理解する
38 回	〃	〃
39 回	〃	〃
40 回	〃	〃
41 回	〃	３）愛玩鳥の適切な飼養管理方法（飼養環境、体調管理など）について理解する
42 回	〃	〃
43 回	〃	〃
44 回	〃	〃
45 回	〃	４）代表的なエキゾチック動物（ウサギ、ハムスターなど）の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理など）について理
46 回	〃	〃
47 回	〃	〃
48 回	〃	〃
49 回	動物の基本的な取扱い	１）動物を安全に散歩・運動・ふれあいさせることの意義について理解する
50 回	〃	〃
51 回	〃	〃
52 回	〃	〃
53 回	〃	２）基本的グルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理など）の目的・方法について理解す
54 回	〃	〃
55 回	〃	〃
56 回	〃	〃
57 回	〃	３）適切な飼養環境やストレスの緩和方法について理解する
58 回	〃	〃
59 回	〃	〃
60 回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物内科看護学	**教員名**	柴野　梓
科目時間数：	60 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ 実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

動物看護のこころの在り方と、犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。身体検査や採血、投薬、輸液、輸血について理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.]基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.]動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

動物看護の概念と特徴、健康管理・診療補助の技術・検査・処置・投薬・輸液と輸血における知識と技術、種別における適切な接し方

〔授業における達成課題〕

筆記試験での正答が60%以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	実習テキスト	エデュワードプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]・　無

【内　　容】

動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

試験において正答が６０%以上、授業出席率８０%以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて、教科書等で予習することを指示して、実行する。

科目名 動物内科看護学	科目時間総数 60　時間	教員名 柴野　梓
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	健康の保持・増進	1）健康診断の内容と・目的について理解する
2　回	〃	〃
3　回	診療補助に必要な技術	1）診察における愛玩動物看護師の役割について理解する
4　回	〃	〃
5　回	〃	2）診察室の準備と衛生管理について理解する
6　回	〃	〃
7　回	〃	3）動物種ごとの適切な接し方について理解する
8　回	〃	
9　回	〃	4）保定の基本的な原理、目的、方法について理解する
10　回	〃	〃
11　回	〃	5）身体検査・アセスメント項目（体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、股動脈圧、毛細血管再充満時間（CRT）、体表リンパ節など）について
12　回	〃	
13　回	〃	
14　回	検査・処置に必要な技術	1）注射器の取扱い及び管理方法について理解する
15　回	〃	
16　回	〃	2）採血の目的と方法について理解する
17　回	〃	
18　回	〃	3）採尿の目的と方法（穿刺、カテーテル導尿など）について理解する
19　回	〃	
20　回	〃	4）穿刺と・吸引について理解する
21　回	〃	
22　回	〃	5）各種カテーテル挿入について理解する
23　回	〃	
24　回	〃	6）酸素吸入について理解する
25　回	〃	7）マイクロチップの挿入について理解する
26　回	投薬に関わる技術	1）薬の処方について理解する
27　回	〃	〃
28　回	〃	2）内服薬の使用法について理解する
29　回	〃	〃
30　回	〃	3）薬剤の注射法について理解する

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31　回	〃	〃
32　回	〃	4） 外用薬の使用法、薬浴の実施法について理解する
33　回	〃	〃
34　回	〃	5） 投薬前後の注意事項について理解する
35　回	〃	〃
36　回	投薬に関わる技術	1）薬の処方について理解する
37　回	〃	〃
38　回	〃	2） 内服薬の使用法について理解する
39　回	〃	〃
40　回	〃	3） 薬剤の注射法について理解する
41　回	〃	〃
42　回	〃	4） 外用薬の使用法、薬浴の実施法について理解する
43　回	〃	〃
44　回	〃	5） 投薬前後の注意事項について理解する
45　回	〃	〃
46　回	輸液に関わる技術	1） 輸液の適応とリスクについて理解する
47　回	〃	〃
48　回	〃	2） 輸液計画について理解する
49　回	〃	3） 各種輸液剤の特性や適応について理解する
50　回	〃	4） 輸液中のモニタリングについて理解する
51　回	〃	〃
52　回	輸血に関わる技術	1） 輸血の適応とリスクについて理解する
53　回	〃	〃
54　回	〃	2） 輸血計画について理解する
55　回	〃	3） クロスマッチ試験と血液型について理解する
56　回	〃	4） 各種輸血製剤の適応や特性について理解する
57　回	〃	5） 輸血に関わる手技について理解する
58　回	〃	〃
59　回	〃	6） 輸血による副反応について理解する
60　回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物外科看護学	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	20 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ [✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

手術関連業務、術前・術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングについて知る

〔授業における達成課題〕

筆記試験での正答60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	実習テキスト	エデュワードプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有] ・ 無

【内　容】

動物看護師として動物病院に勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて教科書をによる予習を指示し実行する。

科目名 動物外科学	科目時間総数 20　時間	教員名 高坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	術前準備	１）術前手続き（飼い主への説明、承諾書など）や術前検査について理解する
2　回	〃	２）無菌的処置の重要性について理解する
3　回	〃	３）手術衣、タオル・ドレープ類の準備、滅菌法について理解する
4　回	〃	４）手術器具の準備と滅菌法について理解する
5　回	〃	５）手術室の機器類（無影灯、電気メス本体など）、準備について理解する
6　回	〃	６）器械台の準備について理解する
7　回	〃	７）動物の適切なポジショニングについて理解する
8　回	〃	８）術野の消毒について理解する
9　回	麻酔	１）麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割について理解する
10　回	〃	２）麻酔リスクの評価（ASA 分類など）について理解する
11　回	〃	３）麻酔前投与（鎮静など）について理解する
12　回	〃	４）注射麻酔（局所麻酔含む）の手技について理解する
13　回	〃	５）吸入麻酔の手技について理解する
14　回	〃	６）導入時、覚醒時のリスクと対処法について理解する
15　回	〃	７）麻酔看視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、二酸化炭素など）の監視方法、意義について理解する
16　回	〃	8)麻酔記録の作成法について理解する
17　回	術後管理	１）麻酔覚醒後の動物のモニタリングについて理解する
18　回	〃	２）疼痛管理の意義と方法について理解する
19　回	〃	３）術創管理と包帯法について理解する
20　回	〃	４）退院時の注意点と飼い主への説明事項について理解する

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物栄養学	**教員名**	名本　圭太
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

動物が家族の一員として位置づけられ、人と生活を共にする動物の「食」を取り巻く環境が大きく変わり、病気の動物を治療することが獣医師の目的であるが、むしろ病気の予防や病気にならない環境づくり、さらには健康を維持することが動物看護師の大きな役割と言える。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

動物の健康維持として必要な栄養素を学び、その基礎知識などを学び、様々なペットフードやパンフレット等に記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談や指導を行うための知識を習得する。また、疾患に対しての適切な栄養学により、食事指導をする。

〔授業における達成課題〕

筆記試験で正答60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院に獣医師としての勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物栄養学	科目時間総数 30 時間	教員名 名本　圭太

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	動物栄養学総論	６大栄養素、犬猫の基礎栄養、カロリー計算、適切なフードについて理解する。
2 回	基礎栄養学	６大栄養素をとその働きについて理解する。栄養学は学問としてではなく、日常の知識であることを理解する。
3 回	基礎栄養素 水	水の重要性について理解する。
4 回	基礎栄養素 タンパク質①	タンパク質の働き、消化吸収について、アミノ酸などについて理解する。
5 回	基礎栄養素 タンパク質②	体内でのアミノ酸代謝を学び、窒素運動を理解する。
6 回	基礎栄養素 炭水化物	炭水化物について理解する。
7 回	基礎栄養素 脂肪	高エネルギー源としての脂肪の特徴とその長所と短所を理解する。
8 回	基礎栄養素 ミネラル	ミネラルについて、カルシウムとリンのバランス、細胞内外のナトリウムとリンの関係などを理解する。
9 回	〃	〃
10 回	基礎栄養素 ビタミン	微量必須有機物としてのビタミンの重要性などを理解する。
11 回	犬猫の栄養要素の種差	犬と猫にそれぞれ必要な栄養素について、食事の違いを理解する。 犬と猫の食性、嗜好、成功性、摂食行動について理解する。
12 回	栄養基準について	ＡＡＦＣ、ＮＲＣなどについて理解する
13 回	復習	１～１８回の内容を復習する。
14 回	ライフステージ別の栄養管理①	ライフステージ別の栄養が必要な理由について考え、理解する。犬猫の繁殖期、授乳期に必要な栄養管理について理解する。
15 回	ライフステージ別の栄養管理②	子犬や子猫の成長期、離乳後に必要なエネルギー源などについて理解する。
16 回	ライフステージ別の栄養管理③	一般に成犬期・成猫期がいつまでか、加齢に伴う変化を理解した上で必要な栄養素は何か理解する。
17 回	ライフステージ別の栄養管理④	高齢の犬猫は食事内容を変化することに抵抗があるが、加齢にともなう体調変化にあわせて内容を考慮することを理解する。
18 回	ペットフードの表示の見方	市販のペットフードのパッケージやラベルにある情報を理解する。
19 回	BCS評価とカロリー計算の仕方①	BCSが何かを理解し、そのう上で与える食事がどれくらいのエネルギーをもつのかなどカロリー計算ができる。
20 回	BCS評価とカロリー計算の仕方②	動物のエネルギー要求量には個体差があり、その状況に応じたカロリー計算ができる。
21 回	BCS評価とカロリー計算の仕方③	臨床の場でも飼い主から相談があった時にでもカロリー計算ができる。
22	ペットフードの種類	ペットフードには、機能別やライフステージ別などがあることやフードの与え方を理解する。飼い主にも説明できる。
23	復習	今までの内容を復習する。
24	各論：尿路結石/猫下部尿路疾患、腎泌尿器疾	療法食と疾患別による栄養特性を理解する。
25	各論：心臓病	〃
26	各論：消化器病、口腔疾患	〃
27	各論：肝臓病、糖尿病	〃
28	強制給餌と経管・静脈栄養法	強制給餌、経管栄養法（経鼻、食道、胃瘻チューブなど）、静脈栄養法（TPN、PPN）と特徴、方法について理解する。
29	〃	〃
30	復習	全回の復習をする。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物医療コミュニケーション		**教員名**	髙坂　恵梨香	
科目時間数：	15　時間		**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　[✓ 演習]　・　実習	
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
ホスピタリティ精神を理解し飼い主からの信頼を得るために身だしなみの重要性を理解する。言葉使い・話し方・表情・立ち居振る舞いの接客時の基本を身に着けたコミュニケーション能力を身に着ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
日常健康管理ねどにに関わる飼い主さんとのコミュニケーションの取り方、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率80％以上

【必要な予習等の内容】
次回の講義内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をすることを指示し実行をする

科目名	科目時間総数	教員名
動物医療コミュニケーション	15 時間	髙坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	接遇とは ホスピタリティとは	ホスピタリティとは何か。身だしなみの重要性。
2 回	社会人コミュニケーション能力の基礎①	シチュエーション別による配慮の必要性を理解する。ＴＰＯに応じた言動をわきまえる。相手に合わせた言葉使い。
3 回	社会人コミュニケーション能力の基礎②	仕事を行う上で大切な「報告・連絡・相談」について理解する
4 回	飼い主のお迎え①	病院の顔であることを意識した、初診時の診察受付。問診記入説明、記入後の処理案内。
5 回	飼い主のお迎え②	初診・再診時の診察受付が自然に出来るよう反復トレーニング。
6 回	薬の説明	薬の種類・処方の仕方・数の確認・注意事項を適切に説明できる。説明と手の動きをあわせた一連の作業をスムーズに行う。
7 回	精算業務	迅速かつ丁寧な精算業務。清算書の作成、金額を明確に告げる。お金の扱いを知る。
8 回	電話応対①	電話応対の基本を覚える
9 回	電話応対②	実際の動物病院での電話応対を想定して、ペアで実践する
10 回	復習	今までの内容を振り返る
11 回	外部応対	面会の約束のある方、無い方の受付の発話。マナーに従った名刺の受け取り、取次ぎ業務。
12 回	不快感情の飼い主対応	相手の話を落ち着いて聞き、内容を理解する。歩み寄る応対、初動対応の発話。
13 回	訪問と応対のマナー	ビジネスマナーの基本を知る。上座・下座の理解。社会の役職での上下関係を理解する。
14 回	人間心理を知る	顧客とは。様々なケースでの顧客心理を考える。スタッフコミュニケーションを円滑に行う。相手の思考の特徴パターンを知る。
15 回	動物医療コミュ二ケーションまとめ	筆記試験等で理解を深める。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物内科看護学実習		**教員名**	柴野　梓	
科目時間数：	60　時間		**授業の種類：**	講義　・　演習　・　[✓ 実習]	
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 1	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中	

〔授業の目的・ねらい〕

動物看護のこころの在り方と、犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。身体検査や採血、投薬、輸液、輸血について実習を介して学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

①.基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

動物看護の概念と特徴、健康管理・診療補助の技術・検査・処置・投薬・輸液と輸血における知識と技術、種別における適切な接し方

〔授業における達成課題〕

筆記試験での正答が60％以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	動物看護実習テキスト第2版	interzoo
学生用	プリント	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]・　無

【内　　容】

動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

試験において正答が６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて、教科書等で予習することを指示して、実行する。

科目名 動物内科看護学実習	科目時間総数 60　時間	教員名 柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	動物看護 概論①	動物看護の目的、動物看護師と獣医師の違いについて学ぶ
2　回	動物看護 概論②	動物医療における動物看護師の役割・意義、動物看護師としてのこころの在り方について学ぶ
3　回	診療補助① 診察室の準備、衛生管理	診察における動物看護師の役割、診察室の準備、衛生管理の重要性について理解する
4　回	診療補助② 動物との適切な接し方	診察における動物種ごとの適切な接し方・ハンドリングと保定法、その重要性を理解する。
5　回	〃	〃
6　回	〃	〃
7　回	診療補助② 確認テスト（筆記）	動物の接し方とハンドリング、保定法について確認テストを行う
8　回	診療補助② 確認テスト（実地）	〃
9　回	診療補助③一般身体検査、バイタルチェック	一般身体検査・バイタルサインと観察項目（体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、股動脈圧、毛細血管再充填時間(CRT)、体表リンパ節など）について理解する
10　回	〃	〃
11　回	〃	〃
12　回	診療補助③ 確認テスト（筆記）	動物看護の概論、診療補助についての確認テストを行う
13　回	診療補助③ 確認テスト（実地）	〃
14　回	動物の健康管理①各ライフステージにおける看護の重要性	動物看護は一生涯必要であり、全てのライフステージにおける健康な時・疾病に罹患している時の両方に必要であることを理解する
15　回	〃	〃
16　回	動物の健康管理② 健康な動物への看護	健康な動物に行う看護について学ぶ
17　回	〃	〃
18　回	動物の健康管理③ 罹患動物への看護	疾病に罹患している動物に行う看護について学ぶ
19　回	〃	〃
20　回	動物の健康管理④ 確認テスト	動物の健康管理についての再確認テストを行う
21　回	検査・処置① 概論	動物病院で頻繁に行う検査・処置内容の知識、技術について学ぶ
22　回	検査・処置② 血液検査・採血	血液検査の種類、血液検査に使用するシリンジの取り扱いや管理方法について、採血の目的や方法について理解する
23　回	〃	〃
24　回	〃	〃
25　回	〃 血液検査　確認テスト（筆記）	血液検査･採血において確認テストを実施する
26　回	〃 血液検査　確認テスト（実地）	血液検査･採血において確認テストを実施する
27　回	検査・処置③ 尿検査・採尿	尿検査の意義・目的、検査内容と方法、採尿方法について理解する
28　回	〃	〃
29　回	〃	〃
30　回	検査・処置 尿検査　確認テスト（筆記）	尿検査・採尿について確認テストを実施する

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31　回	検査・処置 尿検査　確認テスト（実地）	〃
32　回	検査・処置④ 便検査	便検査の意義・目的、検査内容と方法について理解する
33　回	〃	〃
34　回	検査・処置 便検査　確認テスト（筆記）	便検査についての確認テストを実施する
35　回	検査・処置 便検査　確認テスト（実地）	〃
36　回	検査・処置⑤ 点滴について	点滴の意義・目的、種類と用途を理解する
37　回	〃	〃
38　回	検査処置⑥ まとめ（筆記）	検査・処置についての確認テストを行う
39　回	検査処置⑥ まとめ（実地）	検査・処置についての確認テストを行う
40　回	投薬① 概要	薬物の処方、投与方法と特徴、体内での薬物のプロセスを学ぶ。薬剤の投薬前と後の注意点について理解する。
41　回	〃	〃
42　回	投薬② 経口・静脈・皮下	経口投与・静脈投与・皮下注射の方法と注意点、計算方法について学ぶ
43　回	〃	〃
44　回	投薬③ その他	その他の投与方法（筋肉注射・皮内注射、腹腔内注射、座剤）と注意点について学ぶ
45　回	投薬④ 外用薬、薬浴	外用薬の投薬方法と薬浴に使う薬剤と使用法について理解する
46　回	〃	〃
47　回	投薬 確認テスト（筆記）	投薬についての再確認テストを行う
48　回	投薬 確認テスト（実地）	〃
49　回	輸液① 概要	輸液の目的と方法、輸液製剤の種類と特徴について理解する
50　回	〃	〃
51　回	輸液② 輸液量、輸液ポンプ	輸液量の計算と輸液ポンプの使用方法を理解する
52　回	〃	〃
53　回	〃	〃
54　回	輸液③ モニタリング	輸液中のモニタリング（動物の変化・血管留置部分）と輸液中に起こりやすいトラブル（閉塞・滴下異常、空液）について理解する
55　回	〃	〃
56　回	輸血① 概要	輸血の目的と注意点、輸血製剤の種類と特性について理解する
57　回	輸血② 血液型、クロスマッチ	血液型とクロスマッチ試験について理解する
58　回	〃	〃
59　回	輸血③ モニタリング	輸血中のモニタリングと輸血による副反応を理解する
60　回	総合テスト	動物内科看護学において筆記試験を行い理解度を確認する

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物外科看護学実習	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ [✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1
開講時期：	前期・[✓ 後期]・集中		

〔授業の目的・ねらい〕

動物への外科的治療を補助するために必要な基礎知識を学び、その知識に裏付けられた動物看護技術を修得する

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している
2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる
3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる
4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

手術関連業務、術前・術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングについて知る

〔授業における達成課題〕

筆記試験での正答60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有] ・ 無

【内　　容】

動物看護師として動物病院に勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて教科書をによる予習を指示し実行する。

科目名 動物外科看護学実習	科目時間総数 30　時間	教員名 髙坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	手術補助	周術期看護とは何か理解する
2　回	器具・器材の準備１	一般的な手術器具の名称と特徴を理解し適切に扱えるようになる。また手入れ方法と維持管理について学ぶ
3　回	器具・器材の準備２	縫合糸、縫合針の種類や特徴を理解し、使用部位や目的に合った縫合材料を準備できる
4　回	器具・器材の準備３	ドレープの種類を理解し、適切に準備ができる
5　回	器具・器材の準備４	電気メスの種類、使用方法について理解する
6　回	器具・器材の準備５	用途に合わせた滅菌方法と管理について理解する
7　回	避妊・去勢手術	卵巣・子宮全摘出術、去勢手術の手技や切開部位を理解する
8　回	麻酔前評価	麻酔前に動物を評価する目的とは何か理解する
9　回	手術補助まとめ	避妊・去勢手術を想定して器具の準備を行い理解を深める
10　回	術者の準備	日常～手術当日までの備品の準備、管理について理解する
11　回	術者の準備	手術前の適切な手洗い方法について理解する
12　回	術者の準備	無菌的にガウンの着用と手袋の装着を行う
13　回	動物の準備	毛刈りの意義、適切な消毒方法について理解する
14　回	動物の準備	ドレープのかけ方を実践する
15　回	血管確保	血管確保の準備と手順を実践する
16　回	気道確保	気道確保の準備と手順を実践する
17　回	輸液管理	輸液の準備と管理を実践する
18　回	麻酔とは	全身麻酔と局所麻酔について理解する
19　回	麻酔薬の作用	麻酔薬の作用・代謝・排泄について理解する
20　回	麻酔前投与薬	麻酔前投与薬の種類・薬理効果を理解する
21　回	鎮痛薬	鎮痛薬の種類・薬理効果を理解する
22　回	麻酔導入	麻酔導入の種類・薬理効果を理解する
23　回	吸入麻酔薬	吸入麻酔薬の種類・薬理効果を理解する
24　回	酸素化	酸素化の意義、効果的な酸素のかがせ方を理解する
25　回	麻酔器の構造と管理	麻酔器の準備・管理を実践する
26　回	モニター機器の準備と管理	心電図モニターの準備・管理を実践する
27　回	モニター機器の準備と管理	血圧モニターの準備・管理を実践する
28　回	まとめ	手術の一連の流れを実践する
29　回	麻酔のモニター	気道のモニターについて理解する
30　回	麻酔のモニター	換気のモニターについて理解する

授業計画表

愛玩動物看護師　科　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物看護総合実習	**教員名**	柴野　梓
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	講義・演習・[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 1	**開講時期：** 前期・後期・[✓ 集中]

〔授業の目的・ねらい〕
修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかを動物病院などで体験、実習をする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

① 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

② 動物の体の構造、仕組みが理解できる

③ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

④ 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
インターンシップ（職場実習）として、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。

〔授業における達成課題〕
動物関連業界への就職を実現するだけではなく、業界での活躍を目指す。

	使用教材	出版社
学生用	実践ビジネスマナー	ウイネット

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]・無

【内　容】
動物病院にて動物看護師として勤務

【評価方法とその内容】
実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）

【必要な予習等の内容】
翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。

科目名 動物看護総合実習	科目時間総数 30 時間	教員名 柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	インターンシップの実施の説明	インターンシップの目的や取り組みについて理解する。
2 回	インターンシップ実施報告会①	複数名の２年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。
3 回	インターンシップ実施報告会②	複数名の２年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。
4 回	インターンシップ実施報告会③	複数名の２年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。
5 回	ビジネスマナーの基本①	インターンシップに向けて、ビジネスマナーの基本を理解する。
6 回	ビジネスマナーの基本②	インターンシップに向けて、ビジネスマナーの基本を理解する。
7 回	インターンシップ予定先への受入交渉①	インターンシップ予定先への受入交渉（電話）に向けて、電話対応マナーを理解する。
8 回	インターンシップ予定先への受入交渉②	インターンシップ予定先への受入交渉（電話）に向けて、電話対応マナーを理解する。
9 回	インターンシップ予定先への受入交渉③	インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。
10 回	インターンシップの実施の目標設定①	インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。
11 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
12 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
13 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
14 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
15 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
16 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
17 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
18 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
19 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
20 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
21 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
22 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
23 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
24 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
25 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
26 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
27 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
28 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
29 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
30 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物形態機能学実習	**教員名**	谷口　和美
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 1	**開講時期：** 前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物の身体の形態と機能を学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

② 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答率60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物形態機能学実習	科目時間総数 30　時間	教員名 谷口　和美

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	運動器	骨格標本を用いて、代表的な骨を観察し、名称と特徴を理解する。
2 回	運動器	骨格標本を用いて、代表的な骨を観察し、名称と特徴を理解する。
3 回	運動器	骨格標本を用いて、代表的な骨を観察し、名称と特徴を理解する。
4 回	運動器	代表的な関節の名称と構造、機能を理解する。
5 回	運動器	代表的な関節の名称と構造、機能を理解する。
6 回	運動器	代表的な関節の名称と構造、機能を理解する。
7 回	運動器	代表的な骨格筋の名称と構造、機能を理解する。
8 回	運動器	代表的な骨格筋の名称と構造、機能を理解する。
9 回	運動器	代表的な骨格筋の名称と構造、機能を理解する。
10 回	内臓器官	模型などを用いて、主要な内臓器官の配置を理解する。
11 回	内臓器官	模型などを用いて、主要な内臓器官の配置を理解する。
12 回	内臓器官	模型などを用いて、主要な内臓器官の配置を理解する。
13 回	内臓器官	生殖器の雌雄差を理解する。
14 回	内臓器官	生殖器の雌雄差を理解する。
15 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の各部位の名称、鏡検条件について理解する。
16 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の各部位の名称、鏡検条件について理解する。
17 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の各部位の名称、鏡検条件について理解する。
18 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の適切な操作法を修得する。
19 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の適切な操作法を修得する。
20 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の適切な操作法を修得する。
21 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の適切な管理法を修得する。
22 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の適切な管理法を修得する。
23 回	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の適切な管理法を修得する。
24 回	組織像の観察	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察し、特徴を理解する。
25 回	組織像の観察	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察し、特徴を理解する。
26 回	組織像の観察	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察し、特徴を理解する。
27 回	組織像の観察	組織像に見られる代表的な構造について機能と関係を理解する。
28 回	組織像の観察	組織像に見られる代表的な構造について機能と関係を理解する。
29 回	組織像の観察	組織像に見られる代表的な構造について機能と関係を理解する。
30 回	まとめ	今までの内容を理解し、修得する。

授業計画表

愛玩動物看護師科　　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名　動物愛護・適正飼養実習

教員名　市村　香織

科目時間数：　30　時間

授業の種類：　講義　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：　[✓ 必修]・選択

配当学年：　1

開講時期：　[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

学校動物の飼育の中から、飼い主の気持ちを知るとともに、適切な動物の飼育の仕方や適切な扱い方を身に付ける。

他者とコミュニケーションを取りながら、作業を進めるために必要な能力を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

学校犬、猫、小動物の飼育法について、上級学生から学びながら、同学年の学生同士で学校動物の飼育管理を行う。

〔授業における達成課題〕

学校にいる動物について基本的な飼育ができる。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　有　・　[✓ 無]

【内　容】

【評価方法とその内容】

授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。

科目名 動物愛護・適正飼養実習	科目時間総数 30　時間	教員名 市村　香織

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	服装	動物を飼育する際の服装について、理解する。
2 回	掃除	床の拭き方、ぞうきんの絞り方、ほうきの扱いかたを学ぶ。
3 回	消毒方法	適切な消毒方法を理解する。
4 回	イヌの飼育	イヌとの接し方を理解し、イヌとあいさつし、警戒されない方法を理解する。
5 回	ネコの飼育	ネコとの接し方を理解し、ネコとあいさつし、警戒されない方法を理解しする。
6 回	小動物の飼育	小動物との接し方を理解し、小動物とあいさつし、警戒されない方法を理解する。
7 回	イヌの飼育	イヌの飼育に必要となる道具を理解する。
8 回	イヌの飼育	犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。
9 回	イヌの飼育	犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。
10 回	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解する。
11 回	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。
12 回	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。
13 回	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解する。
14 回	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。
15 回	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。
16 回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解する。
17 回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。
18 回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解する。
19 回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。
20 回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解する。
21 回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。
22 回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。
23 回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。
24 回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。
25 回	イヌの飼育	イヌの食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の犬の飼育に使用する
26 回	ネコの飼育	ネコの食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の猫の飼育に使用する
27 回	小動物の飼育	小動物の食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の飼育に使用する
28 回	イヌの飼育	犬のお世話を行う
29 回	ネコの飼育	猫のお世話を行う

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
30 回	小動物の飼育	小動物のお世話を行う

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅰ （グルーミング学）	**教員名**	天瀬　恵美子
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

モデル犬での実習を通して、犬の扱い方、作業の仕方を学ぶ。ケガ事故の無いように安全に行うことと、生体実習なので出来るだけ負担をかけないようにスムーズに行えるようになるのがねらい。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

① 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

② 動物の体の構造、仕組みが理解できる

③ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

④ 働くという事への心構えが出来ている

〔授業における達成課題〕

筆記試験の正答率80％以上

複数人で1頭の犬のお手入れを適切に行うことができる

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内容】

ペットショップにてトリマーとして勤務経験がある

【評価とその内容】

筆記試験での正答率８０％以上、実技試験の合格、授業出席率８０％以上

【必要な予習などの内容】

実習する犬について、カルテ等を確認して事前に実施内容を把握する

科目名		科目時間総数	教員名
	ペットビジネス教養Ⅰ （グルーミング学）	30　時間	天瀬　恵美子

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	オリエンテーション	科目の概要 動議づけ
2 回	グルーミング理論の必要性	グルーミングとは何かを説明できる。
3 回	犬体名称 骨格名称	グルーミングで使う犬体名称を答えることが出来る。 犬の骨格や関節を理解できている。
4 回	グルーミング手順	グルーミングの全体の流れを理解している。
5 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	犬体チェックの仕方と、必要な道具、チェックのポイントを説明できる。
6 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	爪切り、クリッピングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。
7 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	ブラッシング、コーミングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。
8 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	耳そうじ、眼軟膏、肛門腺絞りの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。
9 回	シャンプーリンスの種類・仕方	各シャンプーの特徴、用法、用量を説明できる
10 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	シャンプーリンスの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。
11 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	ドライの作業の仕方と使用する道具と使い方を説明できる。
12 回	グルーミング手順 道具の種類と使い方	ハサミの持ち方、ひげきりと足回りのカットの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。
13 回	ブラシを使ってブラッシング	ブラシの持ち方とブラシの動かし方を実際にできる
14 回	受付接客	事前準備の仕方と、受付の仕方を説明できる
15 回	お返し接客	お返しの電話のかけ方とお返しの仕方を説明できる。
16 回	カルテの書き方 領収書の書き方	カルテ書き、領収書書きを出来る。
17 回	グルーミング手順の復習	一通りの手順を説明できる。道具を正しい持ち方で持って動かせる。
18 回	マネキンのブラッシング	マネキン犬のブラッシングを正しく行える。
19 回	模擬手配表の読み取りとシミュレーションの仕方	手配表を読み取り、シミュレーションを行うためのカルテの準備ができる。
20 回	模擬受付	受付を、模擬で出来る。
21 回	模擬お迎え電話	お返しの電話を、模擬で出来る。
22 回	模擬お返し	犬のお返しを、模擬で出来る。
23 回	マネキンで模擬実習	手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。
24 回	マネキンで模擬実習	手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。
25 回	マネキンで模擬実習	手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。
26 回	マネキンで模擬実習	手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。
27 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える　飼い主さんの対応あり
28 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える　飼い主さんの対応あり
29 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える　飼い主さんの対応あり
30 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える　飼い主さんの対応あり

授業計画表

愛玩動物看護師　　　科　　　　　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅰ （しつけトレーニング実習）	**教員名**	三上　祐太
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
イヌを安全に管理する技術と知識を身につける
犬の学習理論を理解し、普段の生活に活かす。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
イヌのコントロール、観察およびボディランゲージを読みとり、現状を把握する。犬がトラブルに巻き込まれないための管理。犬の学習理論を理解し、普段の生活に取り入れる。

〔授業における達成課題〕
筆記試験で正答が６０％以上。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　有　・　[✓ 無]

【内　　容】

【評価方法とその内容】

筆記試験で正答６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

配布資料「（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅰ（しつけトレーニング実	科目時間総数 30　時間	教員名 三上　祐太

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	適切な服装・身だしなみ	犬と関わる時の服装について理解する。なぜ適切なのか、不適切なのかを説明できる。
2 回	犬との接し方	犬と正しく接するポイントを理解し、実際の犬とあいさつをする。
3 回	犬の管理	犬の観察の仕方を理解し、犬の状態を知るポイントを説明できる。
4 回	犬の管理	犬を観察し、行動やボディランゲージの変化を３つ以上答えることができる。
5 回	犬の管理	リードの間違った持ち方を知る。リードの持ち方２種類の方法を身に付ける。
6 回	犬の管理	カラーの装着の仕方を学ぶ。カラーの調節の仕方を人形を使って出来るようになる。
7 回	犬の管理	実際の犬と一緒に動きながら、リードをコントロールできるようになる。
8 回	犬の管理	犬へ接近し、抑える方法を実際の犬でできるようになる。
9 回	犬の管理	２種類の抱っこの仕方を学び、実践できるようになる。
10 回	犬の管理	クレート、バリケン、ケージ、ソフトケージの違いを知り、メリットをデメリットを学ぶ。
11 回	犬の管理	クレートの入れ方、出し方について、人形を使ってできるようになる。
12 回	犬の管理	犬の行動管理について、犬の行動を予測し、人が犬の行動を管理する意識を人形を使って身に付ける。
13 回	犬の管理	犬の状態を観察し、犬の行動を予測することができ、行動を管理することができる
14 回	犬の管理	犬の状態を観察し、犬の行動を予測することができ、行動を管理することができる
15 回	犬の管理	犬のボディチェックの仕方を理解する。ハズバンダリートレーニングについて知る
16 回	犬の管理	犬を適切にボディチェックし、異常を発見することができる
17 回	犬の学習	犬の本能的行動を理解する。
18 回	犬の行動学	犬の性格を形成している要因を２つ答えることができる。社会性の重要性、時期を答えることができる
19 回	犬の行動学	犬のあいさつ行動を理解する。パーソナルスペース、社会的距離、境界線について説明できる。
20 回	犬の行動学	犬の対立行動を理解する。社会的闘争の行動パターンを説明できる。
21 回	犬の学習理論	古典的条件付けを理解し、イヌが日常的にどうのように学習をしているか推測する。
22 回	犬の学習理論	オペラント条件付けとはどのような学習方法であり、誰が提唱したかを理解する。
23 回	犬の学習理論	三項随伴性とは何か理解し、行動がどのように発現し、学習していくかを理解する。
24 回	犬のトレーニング	古典的条件付けを使い、名前の教え方を学ぶ
25 回	犬のトレーニング	古典的条件付けを使い、犬との関係の築き方を学ぶ。
26 回	犬のトレーニング	誘導法について学び、犬が不快になりにくい、犬のコントロールについて学ぶ
27 回	犬のトレーニング	正の強化、負の強化について実際の犬を使い、犬がどのように学習し、行動が変化するのか理解する。
28 回	犬のトレーニング	正の弱化、負の弱化について実際の犬を使い、犬がどのように学習し、行動が変化するのか理解する。
29 回	犬のトレーニング	ハズバンダリートレーニングについて学び、普段の飼育実習に活かす。
30 回	犬のトレーニング	ハズバンダリートレーニングについて学び、普段の飼育実習に活かす。

授業計画表

愛玩動物看護師　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養I（飼育実習）	**教員名**	市村　香織
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	講義・演習・[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

学校動物の飼育の中から、飼い主の気持ちを知るとともに、適切な動物の飼育の仕方や適切な扱い方を身に付ける。
他者とコミュニケーションを取りながら、作業を進めるために必要な能力を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1．基本的な動物看護師としての技術を獲得している

② 動物の体の構造、仕組みが理解できる

③ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

④ 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

学校犬、猫、小動物の飼育法について、上級学生から学びながら、同学年の学生同士で学校動物の飼育管理を行う。

〔授業における達成課題〕

学校にいる動物について基本的な飼育ができる。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]・無

【内　容】

ドッグトレーナーとしての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

授業出席率８０%以上。

【必要な予習等の内容】

配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅰ（飼育実習）		科目時間総数 30　時間	教員名 市村　香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	服装	動物を飼育する際の服装について、理解する。	
2回	掃除	床の拭き方、ぞうきんの絞り方、ほうきの扱いかたを学ぶ。	
3回	消毒方法	適切な消毒方法を理解する。	
4回	イヌの飼育	イヌとの接し方を理解し、イヌとあいさつし、警戒されない方法を理解する。	
5回	ネコの飼育	ネコとの接し方を理解し、ネコとあいさつし、警戒されない方法を理解しする。	
6回	小動物の飼育	小動物との接し方を理解し、小動物とあいさつし、警戒されない方法を理解する。	
7回	イヌの飼育	イヌの飼育に必要となる道具を理解する。	
8回	イヌの飼育	犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。	
9回	イヌの飼育	犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。	
10回	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解する。	
11回	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。	
12回	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。	
13回	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解する。	
14回	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。	
15回	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。	
16回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解する。	
17回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。	
18回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解する。	
19回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。	
20回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解する。	
21回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。	
22回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。	
23回	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。	
24回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。	
25回	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。	
26回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。	
27回	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。	
28回	イヌの飼育	犬のお世話を行う	
29回	ネコの飼育	猫のお世話を行う	
30回	小動物の飼育	小動物のお世話を行う	

授業計画表

愛玩動物看護師　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅰ （就職実務）	**教員名**	天瀬　恵美子
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	1	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

就職活動の流れを把握し、就職内定をいただく。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

インターンシップ実習について、必要書類の作成、インターンシップ実習および選考実習の動き方、インターンシップ実習の依頼の仕方、礼状の書き方、働く心構えを学び理解する

〔授業における達成課題〕

動物関連職（動物病院等）への就職

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　容】

動物病院で動物看護師として勤務経験がある

【評価方法とその内容】

授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅰ（就職実務）	科目時間総数 30　時間	教員名 天瀬　恵美子

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	スタンダード プログラム第１回	オリエンテーション
2 回	スタンダード プログラム第１回	第一印象、マナー、印象について
3 回	スタンダード プログラム第２回	ディスカッションの種類
4 回	スタンダード プログラム第２回	ＫＪ法を用いてのアイディア出し
5 回	スタンダード プログラム第３回	学ぶ意味について
6 回	スタンダード プログラム第３回	学ぶ意味について
7 回	スタンダード プログラム第４回	自己分析　自己理解
8 回	スタンダード プログラム第４回	他者理解について
9 回	スタンダード プログラム第５回	動物系イベントを成功させるには
10 回	スタンダード プログラム第５回	動物系イベントを成功させるには
11 回	スタンダード プログラム第６回	経済と倫理観について
12 回	スタンダード プログラム第６回	経済と倫理観について
13	スタンダード プログラム第７回	プロフェッショナルの意識とは
14 回	スタンダード プログラム第７回	社会人の意識とは
15 回	スタンダード プログラム第８回	２０年後の未来を考える
16 回	スタンダード プログラム第８回	ＳＤＧＳの取り組みについて
17 回	スタンダード プログラム第９回	自己目標を立てる
18 回	スタンダード プログラム第９回	学校生活の仕方を考える
19 回	就職実務	仕事をする目的　インターンシップ実習とは　書類の作り方
20 回	就職実務	依頼電話のかけ方　事前挨拶の仕方
21	就職実務	実習中の動きについて
22 回	就職実務	実習中の動きについて
23 回	就職実務	お礼状の書き方
24 回	就職実務	書類の準備
25 回	就職実務	書類の準備
26 回	就職実務	就職活動について
27 回	就職実務	就職活動について
28 回	就職実務	就職活動について
29 回	就職実務	就職活動について
30 回	就職実務	就職活動について

授業計画表

愛玩動物看護師　　　科　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅰ (行事)	**教員名**	天瀬　恵美子
科目時間数：	100　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 1	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

学校生活を実りあるものにするための考え方を学ぶ。
社会人に必要となる社会人基礎寮力を磨き、社会で働く心構えを身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している
2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる
[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる
[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

オリエンテーション、学校行事、国内研修等。

〔授業における達成課題〕

学校行事を通じて、目標達成やその過程を経験して日常生活や就職後の活動で活躍できる。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　容】

動物病院に動物看護師として勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

受講姿勢と取組み成果、レポート、授業出席率80%以上。

【必要な予習等の内容】

行事等について、事前に担当分野の内容を打ち合わせして授業に参加することを指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅰ（行事）		科目時間総数 100　時間	教員名 天瀬　恵美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
2　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
3　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
4　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
5　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
6　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
7　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
8　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
9　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
10　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
11　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
12　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
13　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
14　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
15　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
16　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
17　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
18　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
19　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
20　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
21　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
22　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
23　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
24　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
25　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
26　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
27　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
28　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
29　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	
30　回	特別授業	オリエンテーション　学校での過ごしかた	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	特別授業	学生交流会
32 回	特別授業	学生交流会
33 回	特別授業	学生交流会
34 回	特別授業	学生交流会
35 回	特別授業	学生交流会
36 回	特別授業	学生交流会
37 回	特別授業	健康診断
38 回	特別授業	健康診断
39 回	特別授業	避難訓練
40 回	特別授業	同行避難について
41 回	行事	ドッグフェスティバル準備
42 回	行事	ドッグフェスティバル準備
43 回	行事	ドッグフェスティバル準備
44 回	行事	ドッグフェスティバル準備
45 回	行事	ドッグフェスティバル準備
46 回	行事	ドッグフェスティバル準備
47 回	行事	ドッグフェスティバル準備
48 回	行事	ドッグフェスティバル準備
49 回	行事	ドッグフェスティバル準備
50 回	行事	ドッグフェスティバル準備
51 回	行事	ドッグフェスティバル準備
52 回	行事	ドッグフェスティバル準備
53 回	行事	ドッグフェスティバル準備
54 回	行事	ドッグフェスティバル準備
55 回	行事	ドッグフェスティバル準備
56 回	行事	ドッグフェスティバル準備
57 回	行事	ドッグフェスティバル
58 回	行事	ドッグフェスティバル
59 回	行事	ドッグフェスティバル
60 回	行事	ドッグフェスティバル

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61回	行事	スポーツ大会
62回	行事	スポーツ大会
63回	行事	スポーツ大会
64回	行事	学園祭
65回	行事	学園祭
66回	行事	学園祭
67回	行事	学園祭
68回	行事	学園祭
69回	行事	学園祭
70回	行事	学園祭
71回	行事	学園祭
72回	行事	学園祭
73回	行事	学園祭
74回	特別授業	動物愛護週間　ボランティア活動
75回	特別授業	動物愛護週間　ボランティア活動
76回	特別授業	動物愛護週間　ボランティア活動
77回	特別授業	国内研修
78回	特別授業	国内研修
79回	特別授業	国内研修
80回	特別授業	国内研修
81回	特別授業	国内研修
82回	特別授業	国内研修
83回	特別授業	国内研修
84回	特別授業	国内研修
85回	特別授業	国内研修
86回	特別授業	国内研修
87回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
88回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
89回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
90回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
92 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
93 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
94 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
95 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
96 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
97 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
98 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
99 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき
100 回	行事	ワンだふるＬｉｆｅ　ｉｎ　はなまき

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物感染症学	**教員名**	村上　賢二
科目時間数：	60　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
犬や猫をはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主に犬や猫に感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、病状について学習し、予防と看護に活かす。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体ついての理解が必要である。感染、発症の定義、感染の成り立ちにちて学習し、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】
毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物感染症学	科目時間総数 60　時間	教員名 村上　賢二
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	感染・感染症とは	感染、発症、感染症を理解し定義が言えるようになる。
2 回	感染経過	水平感染、垂直感染について理解する。
3 回	宿主の感染防御１	上皮の防御、自然免疫、獲得免疫を理解する
4 回	細菌	細菌の構造、細胞壁、細胞質膜を理解する。
5 回	細菌の構造	細菌質、莢膜、鞭膜、線毛、芽胞を理解する。
6 回	細菌の分類	階級的分類、増殖を理解する。
7 回	環境因子	酸素、水素イオン濃度、温度、塩化ナトリウム、増殖様式を理解する。
8 回	バイオフィルム	バイオフィルムについて理解する。
9 回	細菌の培養と同定	細菌の培養と同定等を理解する。
10 回	培養方法	好気培養、嫌気培養を理解する。
11 回	同定	分離培養と純培養、染色法、同定、遺伝的検査を理解する。
12 回	治療	薬剤感受性試験について理解する。
13 回	動物感染症学まとめ	復習と確認テストにより理解を深める。
14 回	抗菌薬の作用１	細胞壁合成阻害壁、タンパク質合成阻害壁について理解する。
15 回	抗菌薬の作用２	核融合成阻害薬、補酸素阻害薬について理解する。
16 回	抗菌薬の作用５	細胞学疾病薬について理解する。
17 回	薬剤耐性菌	薬剤耐性菌について理解する。
18 回	菌交代症	菌交代症について理解する。
19 回	薬物アレルギー	薬物アレルギーについて理解する。
20 回	犬猫の主な感染症１	サルモネラ感染症、緑膿菌感染症、パウツレラ症、レプトスピラ症について理解する。
21 回	犬猫の主な感染症２	ブルセラ症、歯周病、ボルデレラ症、犬のライム病について理解する。
22 回	犬猫の主な感染症３	カンピロバクター症、破傷風、結核、膿皮膚症について理解する。
23 回	犬猫の主な感染症４	細菌性皮下腫瘍、扁桃炎、潰瘍性・膜性口内炎について理解する。
24 回	犬猫の主な感染症５	出血性胃腸炎、亀頭包皮炎、精巣炎、精巣上皮炎、前立腺腫瘍について理解する。
25 回	犬猫の主な感染症６	子宮炎、子宮蓄膿症、膣炎、膀胱炎、尿道炎について理解する。
26 回	犬猫の主な感染症７	細菌性結膜炎、外耳道炎、中耳道炎、内耳道炎、髄膜炎、脳腫瘍について理解する。
27 回	犬猫の主な感染症８	化膿性関節炎、骨髄炎、猫咬傷膿瘍について理解する。
28 回	動物感染症学まとめ	復習と確認テストにより理解を深める。
29 回	特殊な細菌	犬猫のマイコプラズマ、猫伝染性貧血、クラミジア、リケッチアについて理解する。
30 回	真菌	構造と形態、疾患、検査方法について理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	真菌治癒と予防	真菌の予防方法等を理解する。
32回	犬猫の真菌性疾患１	皮膚糸状菌症、マラセチア症、クリプトコッカス症、アウペルグルス症について理解する。
33回	犬猫の真菌性疾患２	カンジタ症、ヒストプラズマ症、プロトテカ症、プラストミセス症について理解する。
34回	ウイルス１	ウイルスの形状、分類等、ウイルスの培養の指標と定量、変異について理解する。
35回	ウイルス２	ウイルス感染症の治癒について理解する。
36回	犬のウイルス感染１	狂犬病、犬パルボウイルス感染症、犬ジステンパー、犬伝染性肝炎について理解する。
37回	〃	〃
38回	犬のウイルス感染２	犬伝染性喉頭気管支炎、犬コロナウイルス感染、犬ヘルペスウイルス感染症、犬パピローマ症について理解する。
39回	〃	〃
40回	犬のウイルス感染３	犬パラインフルエンザ、犬インフルエンザ、仮性狂犬病、犬伝染性気管支炎等について理解する。
41回	〃	〃
42回	猫のウイルス感染１	猫汎白血球減少症、猫ウイルス性気管支炎、猫カリシウイルス感染症、猫白血病ウイルス感染症について理解する。
43回	〃	〃
44回	猫のウイルス感染２	猫免疫不全ウイルス感染症、猫伝染性腹膜炎、多発性関節炎、猫かぜ、子猫致死複合症について理解する。
45回	〃	〃
46回	動物感染症学まとめ	復習と確認テストにより理解を深める。
47回	〃	〃
48回	プリオン	猫海綿状脳症ついて理解する。
49回	寄生虫病	寄生虫、形態、分類などを理解する。
50回	犬猫の内部寄生虫１	線虫、条虫について理解する。
51回	犬猫の内部寄生虫２	原虫類について理解する。
52回	犬猫の外部寄生虫１	ダニ類について理解する。
53回	犬猫の外部寄生虫２	シラミ類、ハジラミ類について理解する。
54回	犬猫の外部寄生虫３	ノミ類、ハエウジ症について理解する。
55回	感染症の制御	感染症の制御について理解する。
56回	院内感染の防止	院内感染の予防について理解する。
57回	予防ワクチン	予防ワクチンについて理解する。
58回	動物用生物学的製剤	動物用生物学的製剤について理解する。
59回	動物感染症学まとめ	復習と確認テストにより理解を深める。
60回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物看護関連法規	**教員名**	古濱　和久
科目時間数：	15　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** 前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
法学総論、愛玩動物看護師法、獣医療関連行政法規、公衆衛生行政法規、薬事行政法規について学ぶ。

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が６０％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	愛玩動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】

獣医師

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が６０％以上、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

科目名 動物看護関連法規	科目時間総数 15 時間	教員名 古濱 和久

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	法学総論	１）法の体系について理解する
2 回	法学総論	２）獣医療に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する
3 回	愛玩動物看護師法	１）愛玩動物看護師法の目的・定義等について理解する（免許、試験、業務、罰則を含む）
4 回	愛玩動物看護師法	２）愛玩動物看護師法の目的・定義等について理解する（免許、試験、業務、罰則を含む）
5 回	獣医療関連行政法規	１）獣医師法の概要について理解する
6 回	獣医療関連行政法規	２）獣医師法の概要について理解する
7 回	公衆衛生行政法規	１）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の概要について理解する
8 回	公衆衛生行政法規	２）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の概要について理解する
9 回	公衆衛生行政法規	３）狂犬病予防法の概要について理解する
10 回	薬事行政法規	１）医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の概要について理解する
11 回	薬事行政法規	２）医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の概要について理解する
12 回	薬事行政法規	３）麻薬及び向精神薬取締法の概要について理解する
13 回	薬事行政法規	４）麻薬及び向精神薬取締法の概要について理解する
14 回	薬事行政法規	５）毒物及び劇物取締法の概要について理解する
15 回	薬事行政法規	６）毒物及び劇物取締法の概要について理解する

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物愛護・適正飼養関連法規		**教員名**	平元　尚人	
科目時間数：	15　時間		**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習	
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
愛護・適正飼養の基本となる概念、愛護・適正飼養関連行政法規、社会福祉行政・環境衛生法規について学ぶ。

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が６０％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	愛玩動物飼養管理士２級テキスト	日本愛玩動物協会

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
ペットショップでの動物取扱責任者として勤務経験がある。畜産研究所で家畜人工授精師としての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が６０％以上、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

次回に授業に向けて教科書を一読など予習することを指示して、実行する。

科目名 動物愛護・適正飼養関連法規	科目時間総数 15　時間	教員名 平元　尚人

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	法規の概念	法律と政令、省令と条例などについて、その趣旨や違い、制定と改廃についての仕組みについて理解をする
2　回	愛護・適正飼養の基本となる概念	１）愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する
3　回	愛護・適正飼養関連行政法規	１）動物の愛護及び管理に関する法律の概要について理解する
4　回	〃	２）愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律の概要について理解する
5　回	社会福祉行政・環境衛生法規	１）身体障害者補助犬法について概要を理解する
6　回	〃	２）廃棄物の処理及び清掃に関する法律の概要について理解する
7　回	〃	３）化製場等に関する法律の概要について理解する
8　回	野生動物等に関する法律及び条約	１）生物多様性の概要について理解する
9　回	〃	２）特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の概要について理解する
10　回	〃	３）絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約の概要について理解する
11　回	〃	４）絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の概要について理解する
12　回	〃	５）鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の概要について理解する
13　回	〃	６）特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約の概要について理解する
14　回	〃	７）自然公園法における野生動植物保護に関する制度を理解する
15　回	〃	８）文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度を理解する

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物内科看護学	**教員名**	千田　康博
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ 実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護のこころの在り方と、犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。身体検査や採血、投薬、輸液、輸血について理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物看護の概念と特徴、健康管理・診療補助の技術・検査・処置・投薬・輸液と輸血における知識と技術、種別における適切な接し方

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が60%以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	実習テキスト	エデュワードプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]・　無

【内　　容】
獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

試験において正答が６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて、教科書等で予習することを指示して、実行する。

科目名 動物内科看護学	科目時間総数 30　　時間	教員名 千田　康博

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	心電図と血圧に関わる技術	1）心電図検査の目的と意義について理解する
2　回	〃	2）心電図検査の実施方法について理解する
3　回	〃	3）血圧測定の方法と意義、注意点について理解する
4　回	〃	〃
5　回	Ｘ線検査と CT/MRI に関わる技術	1）Ｘ線検査の目的と意義について理解する
6　回	〃	2）放射線防護について理解する
7　回	〃	3）Ｘ線検査の実施方法と撮影体位について理解する
8　回	〃	4）造影検査と透視撮影について理解する
9　回	〃	5）フイルムの現像とデジタルＸ線撮影について理解する
10　回	〃	6）CT 及び MRI の概要について理解する
11　回	超音波検査に関わる技術	1）超音波検査の目的と実施方法、保定体位について理解する
12　回	〃	2）Ｂモード、Ｍモード、ドップラー法について理解する
13　回	〃	3）超音波検査の保定方法について理解する
14　回	内視鏡検査に関わる技術	1）内視鏡検査の目的と意義について理解する
15　回	〃	2）内視鏡検査の実施方法、準備事項について理解する
16　回	〃	3）スコープの洗浄・消毒における注意点について理解する
17　回	神経学的検査に関わる技術	1）姿勢反応と脊髄反射について理解する
18　回	〃	2）脳神経の検査法について理解する
19　回	〃	3）その他の神経学的検査について理解する
20　回	〃	4）神経学的検査の評価記録法について理解する
21　回	〃	5）神経学的検査時の保定方について理解する
22　回	眼科検査に関わる技術	1）シルマー試験、フルオレセイン試験の方法と意義について理解する
23　回	〃	2）眼圧測定の方法と意義について理解する
24　回	〃	3）眼底検査の方法と意義について理解する
25　回	〃	4）その他の眼科検査について理解する
26　回	〃	5）眼科検査時の保定方について理解する
27　回	皮膚と耳の検査に関わる技術	1）皮膚病変の観察と記録法について理解する
28　回	〃	2）皮膚掻爬試験、スタンプ検査、被毛検査、皮膚生検について理解する
29　回	〃	3）ウッド灯検査と真菌培養法について理解する
30　回	〃	4）外耳道の検査方法と意義、保定法について理解する

授業計画表

愛玩動物看護師　　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名　動物外科看護学

教員名　吉田　麻紀

科目時間数：　40　時間

授業の種類：　[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：　[✓ 必修]・選択

配当学年：　2

開講時期：　前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
手術関連業務、術前・術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングについて知る

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	実習テキスト	エデュワードプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて教科書をによる予習を指示し実行する。

科目名 動物外科看護学	科目時間総数 40　時間	教員名 吉田　麻紀

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	外傷、創傷管理	1）創傷の種類と治癒過程と管理方法について理解する
2　回	〃	2）ドレーンの装着と管理法について理解する
3　回	〃	3）止血法について理解する
4　回	〃	4）骨折・脱臼の管理について理解する
5　回	術前準備	1）術前手続き（飼い主への説明、承諾書など）や術前検査について理解する
6　回	〃	2）無菌的処置の重要性について理解する
7　回	〃	3）手術衣、タオル・ドレープ類の準備、滅菌法について理解する
8　回	〃	4）手術器具の準備と滅菌法について理解する
9　回	〃	5）手術室の機器類（無影灯、電気メス本体など）、準備について理解
10　回	〃	6）器械台の準備について理解する
11　回	〃	7）動物の適切なポジショニングについて理解する
12　回	〃	8）術野の消毒について理解する
13　回	麻酔	1）麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割について理解する
14　回	〃	2）麻酔リスクの評価（ASA 分類など）について理解する
15　回	〃	3）麻酔前投与（鎮静など）について理解する
16　回	〃	4）注射麻酔（局所麻酔含む）の手技について理解する
17　回	〃	5）吸入麻酔の手技について理解する
18　回	〃	6）導入時、覚醒時のリスクと対処法について理解する
19　回	〃	7）麻酔看視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、二酸化炭素濃度など）の監視方法、意義について理解する
20　回	術中補助	1）代表的な手術器具（メス、鉗子など）の名称と使用法について理解する
21　回	〃	2）代表的な縫合材（縫合針、縫合糸）の分類と使用法について理解する
22　回	〃	3）代表的な歯科器具の名称と使用法について理解する
23　回	〃	4）直接補助（手袋着用下での補助）の内容について理解する
24　回	〃	5）間接補助（手術回りの補助）の内容について理解する
25　回	術後管理	1）麻酔覚醒後の動物のモニタリングについて理解する
26　回	〃	2）疼痛管理の意義と方法について理解する
27　回	〃	3）術創管理と包帯法について理解する
28　回	〃	4）退院時の注意点と飼い主への説明事項について理解する
29　回	〃	5）褥創の予防及び対処法（体位変換など）について理解する
30　回	救急救命	1）エマージェンシーの原因と病態について理解する

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31　回	〃	〃
32　回	〃	２）一次救命措置（BLS）について理解する
33　回	〃	３）二次救命措置（ALS）について理解する
34　回	〃	４）気管挿管と心肺蘇生の方法について理解する
35　回	〃	〃
36　回	動物理学療法	１）動物理学療法の目的と意義について理解する
37　回	〃	〃
38　回	〃	２）代表的な理学療法の原理と手技について理解する
39　回	総括	外科看護学で修得した知識・技術を確認する
40　回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物栄養学	**教員名**	名本　圭太
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習

必修・選択の別： [✓ 必修]・選択
配当学年： 2
開講時期： 前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
基礎的な栄養学の知識を身につけるとともに、各種療法食の特色や給餌方法を学ぶことで、実際の飼い主様への栄養学的アドバイスができるよううする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
５大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を習得する。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】
筆記試験において正答率60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】
毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物栄養学	科目時間総数 30 時間	教員名 名本　圭太
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	フードと栄養指導	栄養状態の評価法について理解する
2 回		栄養状態の評価法について理解する
3 回		栄養状態の評価法について理解する
4 回		栄養状態の評価法について理解する
5 回		肥満の弊害と減量プログラムの作成法について理解する
6 回		肥満の弊害と減量プログラムの作成法について理解する
7 回	疾患と栄養	肥満の弊害と減量プログラムの作成法について理解する
8 回		様々な疾患時の食事療法について理解する
9 回		様々な疾患時の食事療法について理解する
10 回		様々な疾患時の食事療法について理解する
11 回		様々な疾患時の食事療法について理解する
12 回		様々な疾患時の食事療法について理解する
13 回	強制給餌と経管・静脈栄養法	療法食の特徴や効果を理解し、飼い主に説明できる
14 回		療法食の特徴や効果を理解し、飼い主に説明できる
15 回		療法食の特徴や効果を理解し、飼い主に説明できる
16 回		療法食の特徴や効果を理解し、飼い主に説明できる
17 回		強制給餌の方法と注意点について理解する
18 回		強制給餌の方法と注意点について理解する
19 回		強制給餌の方法と注意点について理解する
20 回		経管栄養法の種類　経鼻の特徴と方法について理解する
21 回		経管栄養法の種類　食道の特徴と方法について理解する
22 回		経管栄養法の種類　胃瘻チューブの特徴と方法について理解する
23 回		静脈栄養法の種類と特徴、方法について理解する
24 回		静脈栄養法の種類と特徴、方法について理解する
25 回		静脈栄養法の種類と特徴、方法について理解する
26 回		チューブやカテーテルの設置手順について理解する
27 回		チューブやカテーテルの設置手順について理解する
28 回		チューブやカテーテルの管理上の注意点を理解する
29 回		チューブやカテーテルの管理上の注意点を理解する
30 回		まとめ

授業計画表

愛玩動物看護師　　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物臨床検査学
教員名	千田　康博
科目時間数：	30　時間
授業の種類：	[✓ 講義]　・　演習　・　実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択
配当学年：	2
開講時期：	前期・後期・[✓ 集中]

〔授業の目的・ねらい〕

様々な臨床検査の方法を学び、動物看護師としての役割を理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を習得する。

〔授業における達成課題〕

筆記試験において正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答率60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物臨床検査学	科目時間総数 30 時間	教員名 千田　康博

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	臨床検査の基礎	臨床検査における愛玩動物看護師の役割について理解する
2 回		基準値、感度、特異度、精度管理について理解する
3 回		基準値、感度、特異度、精度管理について理解する
4 回		血液の検体採取法について理解する
5 回		尿の検体採取法について理解する
6 回		便の検体採取法について理解する
7 回		粘膜の検体採取法について理解する
8 回		スワブの検体採取法について理解する
9 回		体表組織の検体採取法について理解する
10 回	血液検査	血漿、血清の分離法について理解する
11 回		全血球計算法について理解する
12 回		血液塗抹の作製について理解する
13 回		血液塗抹の作製について理解する
14 回		血液塗抹の観察法について理解する
15 回		ヘマトクリット管を用いた検査について理解する
16 回		凝固検査の目的と意義について理解する
17 回		血液化学検査の目的と意義について理解する
18 回		血液ガス検査の目的と意義について理解する
19 回		免疫学的検査の目的と意義について理解する
20 回	尿検査	尿の性状検査について理解する
21 回		尿沈査について理解する
22 回	糞便検査	虫卵、原虫の検出法について理解する
23 回		細菌の観察法について理解する
24 回	細胞診と病理組織検査	細胞診断の目的と方法について理解する
25 回		病理組織検査のための検体の取り扱いについて理解する
26 回		病理組織検査のための検体の取り扱いについて理解する
27 回	遺伝子検査	遺伝子検査の目的と応用例について理解する
28 回		遺伝子検体の採取及び取扱いについて理解する
29 回		遺伝子検体の採取及び取扱いについて理解する
30 回		まとめ

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　**科**　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物医療コミュニケーション	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	15　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
ホスピタリティ精神を理解し飼い主からの信頼を得るために身だしなみの重要性を理解する。言葉使い・話し方・表情・立ち居振る舞いの接客時の基本を身に着けたコミュニケーション能力を身に着ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
日常健康管理ねどにに関わる飼い主さんとのコミュニケーションの取り方、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ

〔授業における達成課題〕
筆記試験正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】
筆記試験正答率60％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】
翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。

科目名 動物医療コミュニケーション	科目時間総数 15　時間	教員名 高坂　恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	待合室管理	待合室管理において必要なスキルを知り、実践できる
2 回	待合室管理	待合室管理において必要なスキルを知り、実践できる
3 回	薬の説明	薬の種類・処方の仕方・数の確認・注意事項を適切に説明できる。説明と手の動きをあわせた一連の作業をスムーズに行う。
4 回	薬の説明	薬の種類・処方の仕方・数の確認・注意事項を適切に説明できる。説明と手の動きをあわせた一連の作業をスムーズに行う。
5 回	精算業務	迅速かつ丁寧な精算業務。清算書の作成、金額を明確に告げる。お金の扱いを知る。
6 回	精算業務	迅速かつ丁寧な精算業務。清算書の作成、金額を明確に告げる。お金の扱いを知る。
7 回	不快感情の飼い主対応	相手の話を落ち着いて聞き、内容を理解する。歩み寄る応対、初動対応の発話。
8 回	不快感情の飼い主対応	相手の話を落ち着いて聞き、内容を理解する。歩み寄る応対、初動対応の発話。
9 回	外部応対	面会の約束のある方、無い方の受付の発話。マナーに従った名刺の受け取り、取次ぎ業務。
10 回	外部応対	面会の約束のある方、無い方の受付の発話。マナーに従った名刺の受け取り、取次ぎ業務。
11 回	電話応対	動物病院で行うことが予想される電話応対の応用について、様々なケースで対応できるようにする
12 回	電話応対	動物病院で行うことが予想される電話応対の応用について、様々なケースで対応できるようにする
13 回	人間心理を知る①	顧客とは。様々なケースでの顧客心理を考える。
14 回	人間心理を知る②	スタッフコミュニケーションを円滑に行う。相手の思考の特徴パターンを知る。
15 回	動物医療コミュニケーションまとめ	筆記試験等で理解を深める。

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　科　　　　　　　　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物内科看護学実習	**教員名**	柴野　梓
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	講義・演習・[✓ 実習]

必修・選択の別： [✓ 必修]・選択　　**配当学年：** 2　　**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護のこころの在り方と、犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。身体検査や採血、投薬、輸液、輸血について実習を介して学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物看護の概念と特徴、健康管理・診療補助の技術・検査・処置・投薬・輸液と輸血における知識と技術、種別における適切な接し方

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が60%以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	動物看護実習テキスト第2版	interzoo
学生用	プリント	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]・　無

【内　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

試験において正答が６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて、教科書等で予習することを指示して、実行する。

科目名 動物内科看護学実習		科目時間総数 30　時間	教員名 柴野　梓
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1　回	動物看護 概論①	動物看護の目的、動物看護師と獣医師の違いについて学ぶ	
2　回	動物看護 概論②	動物医療における動物看護師の役割・意義、動物看護師としてのこころの在り方について学ぶ	
3　回	診療補助① 診察室の準備、衛生管理	診察における動物看護師の役割、診察室の準備、衛生管理の重要性について理解する	
4　回	診療補助② 動物との適切な接し方	診察における動物種ごとの適切な接し方・ハンドリングと保定法、その重要性を理解する。	
5　回	〃	〃	
6　回	〃	〃	
7　回	診療補助② 確認テスト（筆記）	動物の接し方とハンドリング、保定法について確認テストを行う	
8　回	診療補助② 確認テスト（実地）	〃	
9　回	診療補助③一般身体検査、バイタルチェック	一般身体検査・バイタルサインと観察項目（体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、股動脈圧、毛細血管再充填時間(CRT)、体表リンパ節など）について理解する	
10　回	〃	〃	
11　回	〃	〃	
12　回	診療補助③ 確認テスト（筆記）	動物看護の概論、診療補助についての確認テストを行う	
13　回	診療補助③ 確認テスト（実地）	〃	
14　回	動物の健康管理①各ライフステージにおける看護の重要性	動物看護は一生涯必要であり、全てのライフステージにおける健康な時・疾病に罹患している時の両方に必要であることを理解する	
15　回	〃	〃	
16　回	動物の健康管理② 健康な動物への看護	健康な動物に行う看護について学ぶ	
17　回	〃	〃	
18　回	動物の健康管理③ 罹患動物への看護	疾病に罹患している動物に行う看護について学ぶ	
19　回	〃	〃	
20　回	動物の健康管理④ 確認テスト	動物の健康管理についての再確認テストを行う	
21　回	検査・処置① 概論	動物病院で頻繁に行う検査・処置内容の知識、技術について学ぶ	
22　回	検査・処置② 血液検査・採血	血液検査の種類、血液検査に使用するシリンジの取り扱いや管理方法について、採血の目的や方法について理解する	
23　回	〃	〃	
24　回	〃	〃	
25　回	〃 血液検査　確認テスト（筆記）	血液検査･採血において確認テストを実施する	
26　回	〃 血液検査　確認テスト（実地）	血液検査･採血において確認テストを実施する	
27　回	検査・処置③ 尿検査・採尿	尿検査の意義・目的、検査内容と方法、採尿方法について理解する	
28　回	〃	〃	
29　回	〃	〃	
30　回	検査・処置 尿検査　確認テスト（筆記）	尿検査・採尿について確認テストを実施する	

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物臨床検査学実習	**教員名**	千田　康博
科目時間数：	60 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ [✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物臨床検査学で学んだ知識をもとに、検体検査および生体検査に必要な技術を身につける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答率60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物臨床検査学実習	科目時間総数 60 時間	教員名 千田 康博

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	検体検査	検体採取・処理の手順を習得する
2 回		検体採取・処理の手順を習得する
3 回		検体採取・処理の手順を習得する
4 回		検体採取・処理の手順を習得する
5 回		検体採取・処理の手順を習得する
6 回		マイクロピペットを正しく操作できる
7 回		マイクロピペットを正しく操作できる
8 回		マイクロピペットを正しく操作できる
9 回		遠心分離機を正しく操作できる
10 回		遠心分離機を正しく操作できる
11 回		遠心分離機を正しく操作できる
12 回		血漿、血清を分離できる
13 回		血漿、血清を分離できる
14 回		血漿、血清を分離できる
15 回		血液塗抹標本を作製し、染色できる
16 回		血液塗抹標本を作製し、染色できる
17 回		血液塗抹標本を作製し、染色できる
18 回		血液塗抹標本を作製し、染色できる
19 回		血液塗抹標本を作製し、染色できる
20 回		血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる
21 回		血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる
22 回		血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる
23 回		血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる
24 回		血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる
25 回		全血球計算及び血液化学検査を実施できる
26 回		全血球計算及び血液化学検査を実施できる
27 回		全血球計算及び血液化学検査を実施できる
28 回		全血球計算及び血液化学検査を実施できる
29 回		全血球計算及び血液化学検査を実施できる
30 回		簡易血清学的検査を実施できる

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回		簡易血清学的検査を実施できる
32 回		簡易血清学的検査を実施できる
33 回		簡易血清学的検査を実施できる
34 回		簡易血清学的検査を実施できる
35 回		尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる
36 回		尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる
37 回		尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる
38 回		尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる
39 回		尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる
40 回		尿沈査を観察し、所見を記録できる
41 回		尿沈査を観察し、所見を記録できる
42 回		尿沈査を観察し、所見を記録できる
43 回		尿沈査を観察し、所見を記録できる
44 回		尿沈査を観察し、所見を記録できる
45 回		尿沈査を観察し、所見を記録できる
46 回		糞便検査を実施し、虫卵を検出できる
47 回		糞便検査を実施し、虫卵を検出できる
48 回		糞便検査を実施し、虫卵を検出できる
49 回		糞便検査を実施し、虫卵を検出できる
50 回		糞便検査を実施し、虫卵を検出できる
51 回		糞便検査を実施し、原虫を検出できる
52 回		糞便検査を実施し、原虫を検出できる
53 回		糞便検査を実施し、原虫を検出できる
54 回		糞便検査を実施し、原虫を検出できる
55 回		糞便検査を実施し、原虫を検出できる
56 回		細胞診の準備、補助ができる
57 回		細胞診の準備、補助ができる
58 回		細胞診の準備、補助ができる
59 回		細胞診の準備、補助ができる
60 回		まとめ

授業計画表

愛玩動物看護師　　　**科**　　　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物外科看護学実習	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2
開講時期：	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中		

〔授業の目的・ねらい〕
動物への外科的治療を補助するために必要な基礎知識を学び、その知識に裏付けられた動物看護技術を修得する

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
手術関連業務、術前・術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングについて知る

〔授業における達成課題〕
試験試験正答率60％以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において60点以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示し実行する。

科目名 動物外科看護学実習	科目時間総数 30　時間	教員名 吉田　麻紀

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	術前準備	手術器具の準備、滅菌ができる
2　回		手術衣、タオル、ドレープ類を準備し滅菌できる
3　回		手術に必要な機器、機械台を準備できる
4　回		手術台への動物の固定、術野の消毒ができる
5　回		手洗い、手術衣や手袋の装着ができる
6　回	術中補助	麻酔器の各部名称や使用法を理解し、指示に従って操作できる
7　回		麻酔器の各部名称や使用法を理解し、指示に従って操作できる
8　回		麻酔器の各部名称や使用法を理解し、指示に従って操作できる
9　回		心電図を接続でき、術中監視を行うことができる
10　回		心電図を接続でき、術中監視を行うことができる
11　回		血圧計を接続でき、術中監視を行うことができる
12　回		血圧計を接続でき、術中監視を行うことができる
13　回		麻酔記録を作成することができる
14　回		麻酔記録を作成することができる
15　回		直接補助ができる
16　回		直接補助ができる
17　回		直接補助ができる
18　回		直接補助ができる
19　回		無影灯の操作ができる
20　回		無影灯の操作ができる
21　回		保温マットの操作ができる
22　回		保温マットの操作ができる
23　回		歯科器具の取り扱いを理解し、歯科処置の補助ができる
24　回		歯科器具の取り扱いを理解し、歯科処置の補助ができる
25　回	術後管理	術後の創傷管理ができる
26　回		術後の創傷管理ができる
27　回		動物に包帯を装着できる
28　回		動物に包帯を装着できる
29　回		抜糸の補助ができる
30　回		抜糸の補助ができる

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物看護総合実習	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	60 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
修学した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされているかを動物病院などで体験、実習をする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
インターンシップ（職場実習）として、動物病院などの施設構造や機能を理解し看護が行われている場の環境を理解することで、獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含む、より実践的な看護と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。

〔授業における達成課題〕
動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	プロフェショナルマナー＆接客力	(株) ＪＰＲ

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】
実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）

【必要な予習等の内容】
翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。

科目名 動物看護総合実習	科目時間総数 60　時間	教員名 吉田　麻紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	インターンシップ予定先への受入交渉	インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。
2 回	インターンシップの実施の目標設定	インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。
3 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
4 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
5 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
6 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
7 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
8 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
9 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
10 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
11 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
12 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
13 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
14 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
15 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
16 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
17 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
18 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
19 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
20 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
21 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
22 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
23 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
24 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
25 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
26 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
27 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
28 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
29 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
30 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
32 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
33 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
34 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
35 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
36 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
37 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
38 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
39 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
40 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
41 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
42 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
43 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
44 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
45 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
46 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
47 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
48 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
49 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
50 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
51 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
52 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
53 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
54 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
55 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
56 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
57 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
58 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
59 回	インターンシップ（職場実習）のまとめ①	実習日誌、インターンシップレポート、実習振る返りシートを作成する。
60 回	インターンシップ（職場実習）のまとめ②	実習日誌、インターンシップレポート、実習振る返りシートを作成する。

授業計画表

愛玩動物看護師　科　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物薬理学	**教員名**	古濱　和久
科目時間数：	60 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業の目的・ねらい〕
薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用などを動物看護師が確認し、知識を有することは、カルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。

〔授業全体の内容の概要〕
薬理学を通じて、薬には基本的性質があり効能と副作用の両方を有することを学ぶ。また、薬の効果を最大限に発揮し副作用を最小にするために、飼い主が誤った判断をしないよう正しい服薬指導を行うために、薬理学を理解する。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答が60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有] ・ 無

【内　容】
獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名	科目時間総数	教員名
動物薬理学	60　時間	古濱　和久

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	総論　薬理学とは①	薬理学、基本用語などを理解する。
2 回	総論　薬理学とは②	医薬品、医薬部外品、化粧品、食品の区分、効能効果の表示、販売の規制、処方の規制を理解する。
3 回	総論　薬理学とは②	
4 回	総論　薬理学とは③	医薬品、医薬部外品、化粧品、食品の区分、効能効果の表示、販売の規制、処方の規制、医薬品の定義を理解し、正しく最大限に発揮させるために副作用を低減させるための用量用法を理解する。
5 回	総論　薬理学とは③	
6 回	薬物の剤形①	薬物の内服薬剤形について理解する。
7 回	薬物の剤形①	薬物の内服薬剤形について理解する。
8 回	薬物の剤形②	薬物の注射薬、外用薬剤形について理解する。
9 回	薬物の剤形②	薬物の注射薬、外用薬剤形について理解する。
10 回	薬物の投与方法とその特徴①	薬物の投与方法について、様々な投与方法の長所、短所を理解する。
11 回	薬物の投与方法とその特徴①	薬物の投与方法について、様々な投与方法の長所、短所を理解する。
12 回	薬物の投与方法とその特徴②	静脈内投与方法を理解する。
13 回	薬物の投与方法とその特徴②	静脈内投与方法を理解する。
14 回	薬物の投与方法とその特徴③	静脈内投与方法を理解する。
15 回	薬物の投与方法とその特徴③	静脈内投与方法を理解する。
16 回	薬物の投与方法とその特徴④	その他の投薬方法として経口投与を理解する。
17 回	薬物の投与方法とその特徴④	その他の投薬方法として経口投与を理解する。
18 回	薬物動態①	体内の薬物の動き、効果発現までの流れについて理解する。
19 回	薬物動態①	体内の薬物の動き、効果発現までの流れについて理解する。
20 回	薬物動態②	体内の薬物の動き、効果発見までのプロセスについて理解する。
21 回	薬物動態②	体内の薬物の動き、効果発見までのプロセスについて理解する。
22 回	薬物動態③	体内に入った薬物の代謝について理解する。
23 回	薬物動態③	体内に入った薬物の代謝について理解する。
24 回	薬物に影響を与える因子①	効果に影響を与える因子、量について理解する。
25 回	薬物に影響を与える因子①	効果に影響を与える因子、量について理解する。
26 回	薬物に影響を与える因子②	効果に影響を与える因子、頻度、年齢、性別について理解する。
27 回	薬物に影響を与える因子②	効果に影響を与える因子、頻度、年齢、性別について理解する。
28 回	復習	今までの内容を復習する
29 回	主な薬剤の特性①	自立神経の生理とその作用薬を理解する。
30 回	主な薬剤の特性①	自立神経の生理とその作用薬を理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	主な薬剤の特性②	自立神経に影響を及ぼす薬物について、受容体作動薬について理解する。
32回	主な薬剤の特性②	自立神経に影響を及ぼす薬物について、受容体作動薬について理解する。
33回	主な薬剤の特性③	抗生物質について理解する。
34回	主な薬剤の特性③	抗生物質について理解する。
35回	主な薬剤の特性④	抗生物質のβラクタム系抗生物質、アミノグリコシド、テトラサイクリン、クロラムフェ二コール系の特性を理解する。
36回	主な薬剤の特性④	抗生物質のβラクタム系抗生物質、アミノグリコシド、テトラサイクリン、クロラムフェ二コール系の特性を理解する。
37回	主な薬剤の特性⑤	抗生物質のマクロライド系、リンコマイシン系、キノロン系の特性を理解する。
38回	主な薬剤の特性⑤	抗生物質のマクロライド系、リンコマイシン系、キノロン系の特性を理解する。
39回	主な薬剤の特性⑥	抗生物質のスルホンアミド、ポリミキシンB、バンコマイシンの特性を理解する。
40回	主な薬剤の特性⑥	抗生物質のスルホンアミド、ポリミキシンB、バンコマイシンの特性を理解する。
41回	主な薬剤の特性⑦	糖質コルコイド作用を有する合成ステロイドについて理解する。
42回	主な薬剤の特性⑦	糖質コルコイド作用を有する合成ステロイドについて理解する。
43回	主な薬剤の特性⑧	糖質コルコイドの分泌、抑制機構、生理作用、種類を学び患者動物への作用などを理解する。
44回	主な薬剤の特性⑧	糖質コルコイドの分泌、抑制機構、生理作用、種類を学び患者動物への作用などを理解する。
45回	主な薬剤の特性⑨	非ステロイド抗炎症剤について理解する。
46回	主な薬剤の特性⑨	非ステロイド抗炎症剤について理解する。
47回	主な薬剤の特性⑩	循環器疾病に対する薬の作用機序について理解する。
48回	主な薬剤の特性⑩	循環器疾病に対する薬の作用機序について理解する。
49回	主な薬剤の特性⑪	消化器疾患に対する薬の特徴と種類を理解する。
50回	主な薬剤の特性⑪	消化器疾患に対する薬の特徴と種類を理解する。
51回	薬用量の計算①	薬の投与量の計算ができる。
52回	薬用量の計算①	薬の投与量の計算ができる。
53回	薬用量の計算②	薬物の投与量は動物ごとに決定する必要があり、正しく使用できる。
54回	薬用量の計算②	薬物の投与量は動物ごとに決定する必要があり、正しく使用できる。
55回	薬用量の計算③	薬物の投与量は動物ごとに決定する必要があり、正しく使用できる。注射やシロップなどの溶液計算ができる。
56回	薬用量の計算③	薬物の投与量は動物ごとに決定する必要があり、正しく使用できる。注射やシロップなどの溶液計算ができる。
57回	薬用量の計算④	コンプライアンスを確認し、手術時の麻酔量などの計算ができる。
58回	薬用量の計算④	コンプライアンスを確認し、手術時の麻酔量などの計算ができる。
59回	薬用量の計算④	コンプライアンスを確認し、手術時の麻酔量などの計算ができる。
60回	総まとめ	不十分な部分がないかを確認し、薬物投与に関する略語を理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　科　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物繁殖学	**教員名**	佐藤　れえ子
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
繁殖は動物が存続する上で欠かせないものであり、雄雌がそれぞれ成長して生殖能力を有し受精により新たな生命が誕生する営みである。また、ブリーディングにおいては知っておくべき交配上の注意などを理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
主に犬、猫の雄雌の生殖器の構造と機能、性行為行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。さらに正常の分娩の前兆、生理的変化と異常分娩時における助産について理解をする。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　容】
獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答率60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物繁殖学	科目時間総数 30 時間	教員名 佐藤　れえ子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	雄の生殖器と機能	雄の生殖器の構造、機能、生理を理解する。
2 回	雌の生殖器と機能	雌の生殖器の構造、機能、生理を理解する。
3 回	生殖活動に関連するホルモン	生殖器に関連するホルモンについて理解する。
4 回	生殖活動に関連するホルモン	生殖器に関連するホルモンについて理解する。
5 回	性成熟と生殖周期①	雌の性成熟と生殖周期について理解する。
6 回	性成熟と生殖周期②	雌の性成熟と生殖周期について理解する。
7 回	雌犬の繁殖①	犬の排卵、交配時期について理解する。
8 回	雌犬の繁殖②	犬の妊娠、分娩、出産について理解する。
9 回	雌犬の繁殖②	犬の妊娠、分娩、出産について理解する。
10 回	雌犬の繁殖③	犬のホルモン濃度、妊娠期の異常について理解する。
11 回	雌犬の繁殖③	犬のホルモン濃度、妊娠期の異常について理解する。
12 回	雌犬の繁殖④	犬の助産、新生子の管理、母犬の管理について理解する。
13 回	雌犬の繁殖④	犬の助産、新生子の管理、母犬の管理について理解する。
14 回	雌猫の繁殖①	猫の排卵、交配時期について理解する。
15 回	雌猫の繁殖②	猫の妊娠、分娩、出産について理解する。
16 回	雌猫の繁殖②	猫の妊娠、分娩、出産について理解する。
17 回	雌猫の繁殖③	猫のホルモン濃度、妊娠期の異常について理解する。
18 回	雌猫の繁殖③	猫のホルモン濃度、妊娠期の異常について理解する。
19 回	雌猫の繁殖④	猫の助産、新生子の管理、母犬の管理について理解する。
20 回	雌猫の繁殖④	猫の助産、新生子の管理、母犬の管理について理解する。
21 回	犬猫の繁殖の人的支配	犬猫の人口交配について理解する。
22 回	犬猫の繁殖の人的支配	犬猫の人口交配について理解する。
23 回	遺伝子の基礎と遺伝性疾患	遺伝学の基礎柄と遺伝性疾患を理解する。
24 回	遺伝子の基礎と遺伝性疾患	遺伝学の基礎柄と遺伝性疾患を理解する。
25 回	新生子管理①	新生子のための飼育環境について理解する。
26 回	新生子管理②	初乳の意義と哺乳について理解する。
27 回	新生子管理③	新生子の発育過程について理解する。
28 回	遺伝学概論①	遺伝のメカニズムについて理解する。
29 回	遺伝学概論②	さまざまな遺伝様式、顕性、潜性、伴性遺伝について理解する。
30 回	遺伝学概論③	遺伝子疾患、発生異常について理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	生命倫理・動物福祉	**教員名**	髙坂　恵梨香
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義] ・ 演習 ・ 実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

生命倫理の概念。動物福祉の概念、愛玩動物の福祉、産業動物の福祉、実験動物の福祉、展示動物の福祉について学ぶ

〔授業における達成課題〕

筆記試験での正答率60％以上、愛玩動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	愛玩動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有] ・ 無

【内　容】

動物病院に動物看護師として勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答率６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回に向けて教科書を活用して予習をすることを指示して実行する。

科目名 生命倫理・動物福祉		科目時間総数 30　時間	教員名 高坂　恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1　回	生命倫理の概念	生命倫理の考え方について理解する	
2　回		生命倫理と獣医療の関わりについて理解する	
3　回	動物福祉の概念	１）動物福祉の考え方について理解する	
4　回		２）「５つの自由」について理解する	
5　回		３）世界と日本における近年及び現代の動物愛護運動について理解する	
6　回		３）世界と日本における近年及び現代の動物愛護運動について理解する	
7　回		４）動物の権利、動物福祉の思想や課題について理解する	
8　回		４）動物の権利、動物福祉の思想や課題について理解する	
9　回		５）動物福祉の生理学的指標及び行動的指標による評価法について理解する	
10　回		６）安楽死の考え方について理解する	
11　回	愛玩動物の福祉	１）愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題について理解する	
12　回		２）国内外の動物保護活動の現状と課題について理解する	
13　回		２）国内外の動物保護活動の現状と課題について理解する	
14　回		３）飼養放棄や殺処分問題、対策について理解する	
15　回		４）動物のみだりな殺傷・虐待の現状、対策について理解する	
16　回		４）動物のみだりな殺傷・虐待の現状、対策について理解する	
17　回		５）飼養動物の災害時の対応について理解する	
18　回		５）飼養動物の災害時の対応について理解する	
19　回	産業動物の福祉	１）産業動物における福祉上の問題について理解する	
20　回		１）産業動物における福祉上の問題について理解する	
21　回		２）国際的な福祉基準について理解する	
22　回		３）産業動物の福祉を向上させるための具体的方法について理解する	
23　回		３）産業動物の福祉を向上させるための具体的方法について理解する	
24　回	実験動物の福祉	１）実験動物における福祉上の問題について理解する	
25　回		１）実験動物における福祉上の問題について理解する	
26　回		２）３Rの概念と具体的方法について理解する	
27　回	展示動物の福祉	１）展示動物における福祉上の問題について理解する	
28　回		１）展示動物における福祉上の問題について理解する	
29　回		２）展示動物に対する環境エンリッチメントの種類と内容について理解する	
30　回		まとめ	

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物臨床看護学総論		**教員名**	柴野　梓	
科目時間数：	30 時間		**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習	
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として、重要な役割を果たすようになってきている。そのためには獣医師の職域とは異なる動物看護師の視点での動物をみられるようになることが必要である。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物看護学で学ぶ内容を復習し動物看護師の役割、目的などをふりかえる。また、多様な症状別及び臓器別の看護のポイントを学び症状別・臓器看護に加え、生理学を振り返り疾病動物にどのような障害が起きているのかアセスメントのつなげる。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答60％以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院で動物看護師としての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名	科目時間総数	教員名
動物臨床看護学総論	30　時間	柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	動物看護学概論①	動物看護とは、対象、職業について学びなおす。
2　回	動物看護学概論②	動物看護を実践する上で必要な観察技術を理解する。
3　回	動物看護学概論③	共通の動物看護技術を理解する。
4　回	動物看護技術の基盤 動物看護技術	動物看護を遂行する動物看護者に必要な技術について理解する。
5　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程①	動物看護過程の目的や意義、方法を理解する。
6　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程②	動物看護過程の各ステップについて理解する。
7　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程③	アセスメントについて理解する。
8　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程④	動物看護の観察力の重要性について理解する。
9　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程⑤	動物看護の観察力について、先入観を持たない観察が重要であることを理解する。
10　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程⑥	記録について学び、アセスメントのＳＯＡＰモデルを理解する。
11　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程⑦	事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する。
12　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程⑧	問題の明確化、動物看護計画の立案について理解する。
13　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程⑨	動物看護過程の実施、評価について理解する。
14　回	動物看護技術の基盤 動物看護過程⑩	アセスメント、動物看護診断、動物看護計画、動物看護実践、動物看護評価について、ケース別に学ぶ。
15　回	院内・飼い主コミュニケーション	動物医療現場における、コミュニケーションの重要性について理解する。
16　回	クライアントエデュケーション	動物医療現場における、クライアントエデュケーション・インフォームドコンセントの意義・重要性について理解する。
17　回	動物看護者の倫理綱領①	動物看護者の倫理綱領の全文を確認する。
18　回	動物看護者の倫理綱領②	動物看護者の倫理綱領の条文について、事例を考えながら確認をする。
19　回	動物看護者の倫理綱領③	動物看護者の倫理綱領の条文について、事例を考えながら確認をする。
20　回	診療記録	診療録（カルテ）の作成方法について理解する
21　回	診療記録	動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する。
22　回	動物看護業務	チーム獣医療における動物看護師の役割を理解する。
23　回	動物看護業務	ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する。
24　回	動物看護業務	事故管理、防止システムについて理解する。
25　回	動物看護業務	家庭での継続看護を視野に入れた隊員計画・指導について理解する。
26　回	ターミナルケア①	ターミナルケアの目的と意義について理解する。
27　回	ターミナルケア②	ターミナル期の患者や飼い主に対して動物看護師が果たす役割について、ケース別に学ぶ。
28　回	ターミナルケア③	QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する。
29　回	ターミナルケア④	在宅医療・在宅ケアについて理解する。
30　回	ターミナルケア⑤	死亡した動物への対応、エンゼルケアについて理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名　動物臨床看護学各論

教員名　柴野　梓

科目時間数：　30　時間

授業の種類：　[✓ 講義]・演習・実習

必修・選択の別：　[✓ 必修]・選択

配当学年：　2

開講時期：　[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
チーム獣医療の場で必要な病名や診断名、各疾患の看護について学習する。また、治療方針の理解度を高め、動物看護に活かすために必要な疾病について学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1]. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
器官別の疾病については、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護を実践できるよう知識を身に付ける。疾病により、好発種や、好発年齢があるので、そのポイントを理解した上で各症状を理解し、さらに看護法を身に付ける。

〔授業における達成課題〕
試験試験正答率60%以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　容】

動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において60点以上、授業出席率80%以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示し実行する。

科目名 動物臨床看護学各論	科目時間総数 30 時間	教員名 柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	疾病看護概論①	形態機能学の復習と診断、治療、看護までの流れ、問診、治療の概要、を理解する。
2 回	疾病看護概論②	体温調整、脈拍、呼吸異常、バイタルサイン・身体検査(体重、ＢＣＳ、一般状態、可視粘膜など)の項目とそれぞれの項目に評価法を理解する
3 回	口腔内疾患①	口腔内の局所解剖、生理学、口腔内検査、口腔内の疾病の機序、および症状についてを理解する。
4 回	口腔内疾患②	歯の構造や主な検査法、主な症状、治療法について理解する。歯周症状の治療について理解し、看護に活かせる。
5 回	感覚器疾患：耳①	耳の局所解剖、生理、検査法、主な疾病についてを理解し、看護に活かせる。
6 回	感覚器疾患：眼①	眼の局所解剖、生理、検査方法を理解する。
7 回	感覚器疾患：眼②	睫毛、眼瞼、マイボーム腺、ブドウ膜、角膜、強膜、結膜に生じる疾病を理解し、看護に活かせる。
8 回	感覚器疾患：眼③	水晶体、網膜、涙腺、眼球全体にに生じる疾病を理解し、看護に活かせる。
9 回	感覚器疾患：皮膚①	皮膚の局所解剖、生理、検査方法を理解する。
10 回	感覚器疾患：皮膚②	内分泌系皮膚疾患、アレルギー性皮膚疾患、免疫介在性皮膚疾患について理解し、看護に活かせる。
11 回	感覚器疾患：皮膚③	感染性皮膚疾患、寄生虫性皮膚疾患について理解し、看護に活かせる。
12 回	口腔内、感覚器疾患総合	口腔内、感覚器疾患について復習をにより理解する。
13 回	循環器疾患①	循環器系の局所解剖、生理、検査法を理解する。
14 回	循環器疾患②	うっ血性心不全について理解する。
15 回	循環器疾患③	僧帽性閉鎖不全症について理解する。
16 回	循環器疾患④	三尖弁閉鎖不全症について理解する。
17 回	循環器疾患⑤	循環器系ショックについて理解する。
18 回	循環器疾患⑥	循環器系ショックを理解して、看護に活かせる。
19 回	循環器疾患⑦	犬糸状虫症、大静脈症候群を理解する。
20 回	循環器疾患⑧	動脈管開存、大動脈弁狭窄、肺動脈狭窄を理解する。
21 回	循環器疾患⑨	心室中隔欠損症を理解する。
22 回	循環器疾患⑩	先天性心疾患を理解する。
23 回	循環器疾患⑪	門脈体循環シャントの機序、検査方法、治療法を理解する。
24 回	循環器疾患⑫	心内膜床欠損症の機序、検査方法、治療法を理解する。
25 回	循環器疾患⑬	拡張型心筋症の機序、検査方法、治療法を理解する。
26 回	循環器疾患⑭	肥大性心筋症の機序、検査方法、治療法を理解する。
27 回	循環器疾患⑮	心内膜症の機序、検査方法、治療法を理解する。
28 回	循環器疾患⑯	心膜滲出の機序、検査方法、治療法を理解する。
29 回	循環器疾患⑰	心膜滲出の機序、検査方法、治療法を理解する。
30 回	循環器疾患⑱	各循環器疾患の疾病を理解し、看護に活かせる。

授業計画表

愛玩動物看護師科　　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物愛護・適正飼養実習	**教員名**	市村　香織
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	講義　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** [✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

動物の基本的な取扱い、飼い主とのコミュニケーション、動物愛護管理行政について学ぶ。

〔授業における達成課題〕

学校にいる動物について基本的な飼育ができる。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　有　・　[✓ 無]

【内　容】

【評価方法とその内容】

授業出席率８０%以上。

【必要な予習等の内容】

配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。

科目名 動物愛護・適正飼養実習	科目時間総数 30 時間	教員名 市村 香織

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	動物の基本的な取扱い	犬の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
2 回		犬の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
3 回		犬の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
4 回		犬の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
5 回		犬の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
6 回		犬のグルーミングについて学ぶ
7 回		犬のグルーミングについて学ぶ
8 回		犬のグルーミングについて学ぶ
9 回		犬のグルーミングについて学ぶ
10 回		犬のグルーミングについて学ぶ
11 回		猫の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
12 回		猫の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
13 回		猫の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
14 回		猫の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
15 回		猫の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
16 回		猫のグルーミングについて学ぶ
17 回		猫のグルーミングについて学ぶ
18 回		小動物の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
19 回		小動物の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
20 回		小動物の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
21 回		小動物の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
22 回		小動物の安全なハンドリング、お世話について学ぶ
23 回	飼い主とのコミュニケーション	犬や猫の品種に応じた特徴について説明できる
24 回		動物の適切な飼養方法について指導法を学ぶ
25 回		飼い主が法令に基づき遵守すべき対応について指導法を学ぶ
26 回		動物の飼養が困難になっている飼い主への支援を説明できる
27 回		避難所等災害時の飼い主への支援について説明できる
28 回	動物愛護管理行政	動物愛護管理センターの活動を理解する
29 回		動物取扱業に指導すべき内容について理解する
30 回		動物取扱業における顧客等への対応について学ぶ

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名 動物臨床看護学実習	**教員名** 柴野　梓
科目時間数： 30 時間	**授業の種類：** [✓ 講義] ・ 演習 ・ [✓ 実習]

必修・選択の別： [✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** 前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している
2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる
3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる
4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物看護過程の実践、入院および栄養管理について学ぶ

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有] ・ 無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて教科書をによる予習を指示し実行する。

科目名 動物臨床看護学実習	科目時間総数 30 時間	教員名 柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	動物看護過程の実践	口腔内疾患についての動物看護過程の演習を行う
2 回	動物看護過程の実践	口腔内疾患についての動物看護過程の演習を行う
3 回	動物看護過程の実践	感覚器疾患：耳についての動物看護過程の演習を行う
4 回	動物看護過程の実践	感覚器疾患：耳についての動物看護過程の演習を行う
5 回	動物看護過程の実践	感覚器疾患：眼についての動物看護過程の演習を行う
6 回	動物看護過程の実践	感覚器疾患：眼についての動物看護過程の演習を行う
7 回	動物看護過程の実践	感覚器疾患：皮膚についての動物看護過程の演習を行う
8 回	動物看護過程の実践	感覚器疾患：皮膚についての動物看護過程の演習を行う
9 回	動物看護過程の実践	循環器疾患についての動物看護過程の演習を行う
10 回	動物看護過程の実践	循環器疾患についての動物看護過程の演習を行う
11 回	動物看護過程の実践	呼吸器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
12 回	動物看護過程の実践	呼吸器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
13 回	動物看護過程の実践	血液・造血器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
14 回	動物看護過程の実践	血液・造血器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
15 回	動物看護過程の実践	消化器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
16 回	動物看護過程の実践	消化器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
17 回	動物看護過程の実践	肝胆道系・膵外分泌系疾患についての動物看護過程の演習を行う
18 回	動物看護過程の実践	肝胆道系・膵外分泌系疾患についての動物看護過程の演習を行う
19 回	動物看護過程の実践	泌尿器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
20 回	動物看護過程の実践	泌尿器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
21 回	動物看護過程の実践	内分泌系疾患についての動物看護過程の演習を行う
22 回	動物看護過程の実践	内分泌系疾患についての動物看護過程の演習を行う
23 回	動物看護過程の実践	生殖器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
24 回	動物看護過程の実践	生殖器系疾患についての動物看護過程の演習を行う
25 回	動物看護過程の実践	整形外科疾患についての動物看護過程の演習を行う
26 回	動物看護過程の実践	整形外科疾患についての動物看護過程の演習を行う
27 回	動物看護過程の実践	神経系疾患についての動物看護過程の演習を行う
28 回	動物看護過程の実践	神経系疾患についての動物看護過程の演習を行う
29 回	動物看護過程の実践	腫瘍性疾患についての動物看護過程の演習を行う
30 回	動物看護過程の実践	終末期疾患についての動物看護過程の演習を行う

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅱ（基礎学力・就職実務）	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	20　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
ペット業界で活躍するために必要な能力の向上を目的とする。
周囲と協働し、自ら気づき、考え、行動する能力を磨く。
自己目標の達成の方法を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している
2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる
3. [✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる
4. [✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
　ビジネスマナー、校内外の活動、基礎学力の向上、人間性の向上を養うため、座学、実践型授業を実施する。

〔授業における達成課題〕
動物看護師資格の合格。
就職内定。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業について、プリント等を活用して復習や予習を指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養（基礎学力・就職実務）		科目時間総数 20　時間	教員名 吉田　麻紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
2 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
3 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
4 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
5 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
6 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
7 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
8 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
9 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
10 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
11 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
12 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
13 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
14 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
15 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
16 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
17 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
18 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
19 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	
20 回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る	

授業計画表

愛玩動物看護師　　　科　　　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学

科目名	ペットビジネス教養Ⅱ (グルーミング実習)	**教員名**	天瀬　恵美子
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を実践する。簡単なお手入れケアができる技術を学び行動する

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

道具の種類と使用用途
グルーミングの手順とやり方
犬の扱い方

〔授業における達成課題〕

筆記試験の正答率６０％以上
グルーミングの手順を実践し、犬のお手入れができる
動物看護師資格の合格

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

ドッグカフェにてトリマーとして勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験にて正答率６0％以上　、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて、担当犬のカルテ資料等を確認することを指示し実行する

科目名 ペットビジネス教養Ⅱ(グルーミン	科目時間総数 30　時間	教員名 天瀬　恵美子

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
2 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
3 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
4 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
5 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
6 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
7 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
8 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
9 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
10 回	グルーミング実習	3人で作業をし安全に終えることが出来る
11 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
12 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
13 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
14 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
15 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
16 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
17 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
18 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
19 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
20 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
21 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
22 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
23 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
24 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
25 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
26 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
27 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
28 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
29 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る
30 回	グルーミング実習	２人で作業をし安全に終えることが出来る

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅱ (飼育実習)	**教員名**	市村　香織
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** [✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

イヌ、ネコ、小動物の適性飼育法を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

　イヌ、ネコ、小動物の適性飼育法について実際の動物たちの飼育をしながら学び、知識と技術を身に付ける。

〔授業における達成課題〕

イヌ、ネコ、小動物の飼育方法を説明できる。
毎回の実習報告について、適正な報告ができる。
動物看護師資格の合格。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】

ドッグトレーナーとしての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の実習授業に向けて、実施内容の確認を指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅱ（飼育実習）		科目時間総数 30　時間	教員名 市村　香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	飼育実習	犬の正しい扱い方を復習する	
2回	飼育実習	犬の正しい飼育方法を復習する	
3回	飼育実習	犬の行動管理を復習する	
4回	飼育実習	猫の正しい扱い方を復習する	
5回	飼育実習	猫の正しい飼育方法を復習する	
6回	飼育実習	猫の行動管理を復習する	
7回	飼育実習	小動物の正しい扱い方を復習する	
8回	飼育実習	小動物の正しい飼育方法を復習する	
9回	飼育実習	小動物の行動管理を復習する	
10回	飼育実習	犬、猫、小動物の知識について復習する	
11回	飼育実習	イヌの基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける	
12回	飼育実習	イヌの食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。	
13回	飼育実習	イヌの運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。	
14回	飼育実習	イヌの環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付け	
15回	飼育実習	イヌとの社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。	
16回	飼育実習	イヌの異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。	
17回	飼育実習	ネコの基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける	
18回	飼育実習	ネコの食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。	
19回	飼育実習	ネコの運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。	
20回	飼育実習	ネコの環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付け	
21回	飼育実習	ネコとの社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。	
22回	飼育実習	ネコの異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。	
23回	飼育実習	小動物の基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける	
24回	飼育実習	小動物の食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。	
25回	飼育実習	小動物の運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。	
26回	飼育実習	小動物の環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付	
27回	飼育実習	小動物との社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。	
28回	飼育実習	小動物の異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。	
29回	まとめ①	ペットを適切に飼育するために、飼い主がするべきことについて理解を深める。	
30回	まとめ②	ペットを適切に飼育することを普及するために、動物のプロができることについて、理解を深める。	

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学

科目名	ペットビジネス教養Ⅱ （総合実習）	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	70　時間	**授業の種類：**	講義　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別　：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 2	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかをペットショップ、ペットサロン、動物病院などで体験、実習をする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
インターンシップ（職場実習）として、ペットショップ、ペットサロン、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。

〔授業における達成課題〕
動物関連業界への就職を実現するだけではなく、業界での活躍を目指す。
動物看護師資格の合格。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院にて動物看護師として勤務経験がある

【評価方法とその内容】
実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）

【必要な予習等の内容】

翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。

科目名 ペットビジネス教養Ⅱ(総合実習)		科目時間総数 70　時間	教員名 吉田　麻紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
2　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
3　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
4　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
5　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
6　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
7　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
8　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
9　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
10　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
11　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
12　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
13　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
14　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
15　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
16　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
17　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
18　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
19　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
20　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
21　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
22　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
23　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
24　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
25　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
26　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
27　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
28　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
29　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	
30　回	インターンシップ (職場実習)	現場でのインターンシップ実習	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
32 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
33 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
34 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
35 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
36 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
37 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
38 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
39 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
40 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
41 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
42 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
43 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
44 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
45 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
46 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
47 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
48 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
49 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
50 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
51 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
52 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
53 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
54 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
55 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
56 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
57 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
58 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
59 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
60 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
62 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
63 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
64 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
65 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
66 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
67 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
68 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
69 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
70 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅱ （学校行事・資格）	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	75　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	2	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

学校生活を実りあるものにするための考え方を学ぶ。
社会人に必要となる社会人基礎寮力を磨き、社会で働く心構えを身に付ける。
上級学生としての心構えを持ち、後輩の指導をする能力を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1．基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2．動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3．] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4．] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

　オリエンテーション、基礎学力、学校行事、国内研修、損害保険募集人資格、接客コンテスト、スポーツ大会、ボランティア活動

〔授業における達成課題〕

学校行事等を通じて、目標達成やその過程を経験して日常生活や就職後の活動で活躍できる。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院にて動物看護師としての経験がある

【評価方法とその内容】

受講姿勢と取組み成果、レポート、授業出席率８0％以上。

【必要な予習等の内容】

行事等について、事前に担当分野の内容を打ち合わせをして授業に参加することを指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅱ（学校行事・資格）		科目時間総数 75　　時間	教員名 吉田　麻紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
2　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
3　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
4　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
5　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
6　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
7　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
8　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
9　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
10　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
11　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
12　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
13　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
14　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
15　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
16　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
17　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
18　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
19　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
20　回	行事	ドッグフェスティバル準備	
21　回	行事	ドッグフェスティバル	
22　回	行事	ドッグフェスティバル	
23　回	行事	ドッグフェスティバル	
24　回	行事	ドッグフェスティバル	
25　回	行事	ドッグフェスティバル	
26　回	行事	ドッグフェスティバル	
27　回	行事	ドッグフェスティバル	
28　回	行事	ドッグフェスティバル	
29　回	行事	ドッグフェスティバル	
30　回	行事	ドッグフェスティバル	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	行事	ドッグフェスティバル
32 回	行事	ドッグフェスティバル振り返り反省
33 回	行事	スポーツ大会
34 回	行事	スポーツ大会
35 回	行事	スポーツ大会
36 回	行事	スポーツ大会
37 回	行事	スポーツ大会
38 回	行事	スポーツ大会
39 回	行事	スポーツ大会　振り返り反省
40 回	資格検定	損害保険募集人資格
41 回	資格検定	損害保険募集人資格
42 回	資格検定	損害保険募集人資格
43 回	資格検定	損害保険募集人資格
44 回	資格検定	損害保険募集人資格
45 回	資格検定	損害保険募集人資格
46 回	資格検定	損害保険募集人資格
47 回	資格検定	損害保険募集人資格
48 回	資格検定	損害保険募集人資格
49 回	資格検定	損害保険募集人資格
50 回	行事	学園祭準備
51 回	行事	学園祭準備
52 回	行事	学園祭準備
53 回	行事	学園祭準備
54 回	行事	学園祭準備
55 回	行事	学園祭
56 回	行事	学園祭
57 回	行事	学園祭
58 回	行事	学園祭
59 回	行事	学園祭
60 回	行事	学園祭

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	行事	学園祭　振り返り反省
62 回	特別授業	国内研修
63 回	特別授業	国内研修
64 回	特別授業	国内研修
65 回	特別授業	国内研修
66 回	特別授業	国内研修
67 回	特別授業	国内研修
68 回	特別授業	国内研修
69 回	特別授業	国内研修
70 回	特別授業	国内研修
71 回	特別授業	国内研修
72 回	特別授業	国内研修
73 回	特別授業	国内研修
74 回	振り返り	今までの振り返り
75 回	今後の目標	今後の目標決め

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	適正飼養指導論	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	60　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
愛玩動物の現状・ニーズ、愛玩動物の適正飼養の目的・概念、災害時の危機管理と支援について学ぶ。

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が６０％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】
ペットショップでの動物取扱責任者として勤務経験がある。畜産研究所で家畜人工授精師としての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が６０％以上、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

次回に授業に向けて教科書を一読など予習することを指示して、実行する。

科目名 適正飼養指導論	科目時間総数 60　時間	教員名 吉田　麻紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	愛玩動物の飼養	１）愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する
2 回	〃	〃
3 回	〃	〃
4 回	〃	〃
5 回	〃	２）愛玩動物飼養の現状について理解する
6 回	〃	〃
7 回	〃	〃
8 回	〃	〃
9 回	〃	３）愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点について理解する
10 回	〃	〃
11 回	〃	〃
12 回	〃	〃
13 回	〃	４）愛玩動物の飼養のニーズや目的を理解するとともに、グリーフケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を理解し、必要な支
14 回	〃	〃
15 回	〃	〃
16 回	〃	〃
17 回	適正飼養の推進	１）適正飼養に関する支援の目的と活動（民間団体等によるものを含む）について理
18 回	〃	〃
19 回	〃	〃
20 回	〃	〃
21 回	〃	２）動物取扱業者における適正飼養について理解する
22 回	〃	〃
23 回	〃	〃
24 回	〃	〃
25 回	〃	３）愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する
26 回	〃	〃
27 回	〃	〃
28 回	〃	〃
29 回	〃	４）問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する。
30 回	〃	〃

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	〃	〃
32回	〃	〃
33回	災害危機管理と支援	1）災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる
34回	〃	〃
35回	〃	〃
36回	〃	2）愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる
37回	〃	〃
38回	〃	〃
39回	〃	3）災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する
40回	〃	〃
41回	〃	〃
42回	動物愛護管理行政	1）飼い主指導の基盤として、公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について
43回	〃	〃
44回	〃	〃
45回	〃	2）動物愛護週間の役割と実施状況について理解する
46回	〃	〃
47回	〃	〃
48回	〃	3）犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する
49回		〃
50回	〃	〃
51回	〃	4）動物による事故の内容と報告状況について理解する
52回	〃	〃
53回	〃	〃
54回	〃	5）動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割について理解する
55回	〃	〃
56回	〃	〃
57回	〃	6）動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する
58回	〃	〃
59回	〃	〃
60回	〃	〃

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物生活環境学	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットの共生のための生活環境のあり方を理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
飼養環境整備、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットへの教育・訓練施設、動物介在教育施設について理解を深め、ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応を学ぶ。

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が６０％以上、愛玩動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院で動物看護師としての勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が６０％以上、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

次回に授業に向けて教科書を一読など予習することを指示して、実行する。

科目名 動物生活環境学	科目時間総数 30　時間	教員名 吉田　麻紀

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	飼養環境整備	動物行動学を踏まえた人とペットの飼養環境整備を理解する
2 回	〃	〃
3 回	〃	ペット共生住宅の現状、環境整備・管理を理解する
4 回	〃	〃
5 回	ペットツーリズム関連施設	ペットツーリズムの現状と実施方法について理解する
6 回	〃	〃
7 回	〃	ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理について理解する
8 回	〃	〃
9 回	ドッグラン	ドッグランの環境整備・管理の方法について理解する
10 回	〃	〃
11 回	ペット関連イベント	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興について理解する
12 回	〃	〃
13 回	保護収容施設	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理について理解を深める
14 回	〃	シェルターメディスンについて理解する
15 回	〃	動物愛護管理センターの役割、施設の概要について理解する
16 回	〃	動物愛護管理センターでの、普及啓発活動について理解する
17 回	ペットへの教育	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等について理解する
18 回	〃	〃
19 回	動物介在教育	学校飼育動物等の施設の環境整備・管理方法について理解する
20 回	〃	〃
21 回	ペットの飼育マナー	飼育マナーの必要性や目的について理解する
22 回	〃	〃
23 回	〃	飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違いについて理解する
24 回	〃	〃
25 回	〃	地域自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例について理解する
26 回	〃	〃
27 回	〃	愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナーについて理解する
28 回	〃	〃
29 回	〃	ペット保険の仕組みと実態について理解する
30 回	まとめ	試験に向けて、今までの内容を復習する

授業計画表

愛玩動物看護師　　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペット関連産業概論	**教員名**	吉田　麻紀
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

ペット関連産業における職業倫理、ペットの飼養実態と市場規模、各ペット関連産業の現状と課題、動物取扱業について学ぶ。

〔授業における達成課題〕

筆記試験での正答が６０％以上、愛玩動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院にて、動物看護師としての勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験での正答が６０％以上、授業出席率８０％以上

【必要な予習等の内容】

次回に授業に向けて教科書を一読など予習することを指示して、実行する。

科目名 ペット関連産業概論	科目時間総数 30　時間	教員名 吉田　麻紀

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	職業倫理	責任と社会的役割を理解する
2 回	〃	〃
3 回	〃	商取引における関連法規の概要について理解する
4 回	〃	〃
5 回	〃	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する
6 回	〃	〃
7 回	〃	〃
8 回	〃	〃
9 回	ペットの飼養実態	ペットの飼養実態について理解する
10 回	〃	〃
11 回	ペット関連産業	ペット関連産業の概要について理解する
12 回	〃	〃
13 回	ペット市場規模	ペットの市場規模について理解する
14 回	〃	〃
15 回	ペット関連産業の現状	ペットフード、ペット用品販売の現状と課題を理解する
16 回	〃	〃
17 回	〃	ペット関連サービスである生体分野の現状と課題を理解する
18 回	〃	ペット関連サービスである美容分野の現状と課題を理解する
19 回	〃	ペット関連サービスであるヘルスケア分野の現状と課題を理解する
20 回	〃	ペット関連サービスであるレクリエーション分野の現状と課題を理解する
21 回	〃	ペット関連サービスである観光分野の現状と課題を理解する
22 回	〃	ペット関連サービスである葬儀・霊園分野の現状と課題を理解する
23 回	〃	ペット関連サービスである獣医療分野の現状と課題を理解する
24 回	〃	ペット関連サービスであるペット共生住宅分野の現状と課題を理解する
25 回	〃	ペット関連サービスであるペット共生マンション分野の現状と課題を理解する
26 回	動物取扱業	動物取扱業制度の概要について理解する
27 回	〃	動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践知識を理解する
28 回	〃	動物取扱責任者として業務実施のために必要な動物の取扱方法や衛生管理に係る手法について理解する
29 回	〃	〃
30 回	まとめ	試験に向けて、今までの内容を復習する

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　　科　　　　　　　　　　　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物内科看護学実習		**教員名**	柴野　梓	
科目時間数：	30	時間	**授 業 の 種 類** ：	[✓ 講義] ・ 演習 ・ [✓ 実習]	
必 修 ・ 選 択 の 別 ：	[✓ 必修]・選択	**配当学年**：	3	**開講時期**：	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護のこころの在り方と、犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。身体検査や採血、投薬、輸液、輸血について実習を介して学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物看護の概念と特徴、健康管理・診療補助の技術・検査・処置・投薬・輸液と輸血における知識と技術、種別における適切な接し方

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答が60％以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス
学生用	動物看護実習テキスト第2版	interzoo
学生用	プリント	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

試験において正答が６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて、教科書等で予習することを指示して、実行する。

科目名 動物内科看護学実習	科目時間総数 30　時間	教員名 柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	検査・処置 尿検査　確認テスト（実地）	〃
2　回	検査・処置④ 便検査	便検査の意義・目的、検査内容と方法について理解する
3　回	〃	〃
4　回	検査・処置 便検査　確認テスト（筆記）	便検査についての確認テストを実施する
5　回	検査・処置 便検査　確認テスト（実地）	〃
6　回	検査・処置⑤ 点滴について	点滴の意義・目的、種類と用途を理解する
7　回	〃	〃
8　回	検査処置⑥ まとめ（筆記）	検査・処置についての確認テストを行う
9　回	検査処置⑥ まとめ（実地）	検査・処置についての確認テストを行う
10　回	投薬① 概要	薬物の処方、投与方法と特徴、体内での薬物のプロセスを学ぶ。薬剤の投薬前と後の注意点について理解する。
11　回	〃	〃
12　回	投薬② 経口・静脈・皮下	経口投与・静脈投与・皮下注射の方法と注意点、計算方法について学ぶ
13　回	〃	〃
14　回	投薬③ その他	その他の投与方法（筋肉注射・皮内注射、腹腔内注射、座剤）と注意点について学ぶ
15　回	投薬④ 外用薬、薬浴	外用薬の投薬方法と薬浴に使う薬剤と使用法について理解する
16　回	〃	〃
17　回	投薬 確認テスト（筆記）	投薬についての再確認テストを行う
18　回	投薬 確認テスト（実地）	〃
19　回	輸液① 概要	輸液の目的と方法、輸液製剤の種類と特徴について理解する
20　回	〃	〃
21　回	輸液② 輸液量、輸液ポンプ	輸液量の計算と輸液ポンプの使用方法を理解する
22　回	〃	〃
23　回	〃	〃
24　回	輸液③ モニタリング	輸液中のモニタリング（動物の変化・血管留置部分）と輸液中に起こりやすいトラブル（閉塞・滴下異常、空液）について理解する
25　回	〃	〃
26　回	輸血① 概要	輸血の目的と注意点、輸血製剤の種類と特性について理解する
27　回	輸血② 血液型、クロスマッチ	血液型とクロスマッチ試験について理解する
28　回	〃	〃
29　回	輸血③ モニタリング	輸血中のモニタリングと輸血による副反応を理解する
30　回	総合テスト	動物内科看護学において筆記試験を行い理解度を確認する

授業計画表

愛玩動物看護師　科　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物外科看護学実習	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	30 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
術前準備から術中補助、術後管理までの流れを理解し、安全な手術実施のための援助技術を修得する

〔動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
外科に関する技術の実践と応用を身につける

〔授業における達成課題〕
試験試験正答率60％以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において60点以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示し実行する。

科目名	科目時間総数	教員名
動物外科看護学実習	30　時間	髙坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	シュミレーション17	避妊手術における周術期管理を実践する
2　回	シュミレーション18	避妊手術における周術期管理を実践する
3　回	シュミレーション19	避妊手術における周術期管理を実践する
4　回	シュミレーション20	避妊手術における周術期管理を実践する
5　回	シュミレーション21	避妊手術における周術期管理を実践する
6　回	シュミレーション22	避妊手術における周術期管理を実践する
7　回	シュミレーション23	避妊手術における周術期管理を実践する
8　回	シュミレーション24	避妊手術における周術期管理を実践する
9　回	シュミレーション25	避妊手術における周術期管理を実践する
10　回	シュミレーション26	避妊手術における周術期管理を実践する
11　回	シュミレーション27	避妊手術における周術期管理を振り返る
12　回	外科動物看護実習まとめ１	手術の一連の流れを実践する
13　回	外科動物看護実習まとめ２	手術の一連の流れを実践する
14　回	実技試験１	実技試験により理解を深める
15　回	実技試験１	実技試験により理解を深める
16　回	動物モニター	動物のバイタルサインを知り、救急状態を評価する
17　回	心肺停止と心肺蘇生	心肺停止を起こす要因と心肺停止を起こすリスクのある動物、さらに準備について学ぶ
18　回	救急薬品の知識	救急救命処置時に使用される薬剤について学ぶ
19　回	救急時の輸液	救急救命処置時の輸液療法について学ぶ
20　回	救急時の輸液	救急救命処置時の輸液療法について学ぶ
21　回	輸血	緊急時処置として輸血準備や看護介入に対応できるようになる
22　回	救急疾患の基礎知識	外傷エマージェンシーの処置が理解できる
23　回	救急疾患の基礎知識	眼科エマージェンシーの処置が理解できる
24　回	救急疾患の基礎知識	神経エマージェンシーの処置が理解できる
25　回	救急疾患の基礎知識	中毒エマージェンシーの処置が理解できる
26　回	救急疾患の基礎知識	熱射病エマージェンシーの処置が理解できる
27　回	救急疾患の基礎知識	呼吸エマージェンシーの処置が理解できる
28　回	救急疾患の基礎知識	心血管エマージェンシーの処置が理解できる
29　回	救急疾患の基礎知識	ショックについて理解し、看護介入に生かす
30　回	救命救急対応まとめ	復習として確認テストにより、理解を深める

授業計画表

愛玩動物看護師科　　**科**　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物看護総合実習	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	90 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・[✓ 実習]

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	3	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
修学した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされているかを動物病院などで体験、実習をする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
インターンシップ（職場実習）として、動物病院などの施設構造や機能を理解し看護が行われている場の環境を理解することで、獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含む、より実践的な看護と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。

〔授業における達成課題〕
動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	プロフェショナルマナー＆接客力	(株) ＪＰＲ

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】
実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）

【必要な予習等の内容】
翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。

科目名 動物看護総合実習	科目時間総数 90　時間	教員名 高坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	インターンシップ予定先への受入交渉	インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。
2 回	インターンシップの実施の目標設定	インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。
3 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
4 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
5 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
6 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
7 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
8 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
9 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
10 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
11 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
12 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
13 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
14 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
15 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
16 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
17 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
18 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
19 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
20 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
21 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
22 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
23 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
24 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
25 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
26 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
27 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
28 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
29 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
30 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
32 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
33 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
34 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
35 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
36 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
37 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
38 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
39 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
40 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
41 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
42 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
43 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
44 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
45 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
46 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
47 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
48 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
49 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
50 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
51 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
52 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
53 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
54 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
55 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
56 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
57 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
58 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
59 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
60 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
62 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
63 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
64 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
65 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
66 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
67 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
68 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
69 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
70 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
71 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
72 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
73 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
74 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
75 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
76 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
77 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
78 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
79 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
80 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
81 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
82 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
83 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
84 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
85 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
86 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
87 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
88 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
89 回	インターンシップ（職場実習）のまとめ①	実習日誌、インターンシップレポート、実習振る返りシートを作成する。
90 回	インターンシップ（職場実習）のまとめ②	実習日誌、インターンシップレポート、実習振る返りシートを作成する。

授業計画表

愛玩動物看護師　**科**　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物病理学	**教員名**	落合　謙爾
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	3	**開講時期：**	[✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護において、動物がどのような状況にあり、どのうような看護が必要かは、発病のメカニズムと病理的特徴を理解することから始まる。ついては生理機能の障害がどのように発生し、変化し、回復していくのかを理解する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
病気の特徴や分類、名称、病理的検査方法などの病理学専門用語を学ぶ。一般的な正常と異常の違いは、加齢による組織変化や生理機能の違い、動物種による病気の違いなどを理解し、動物看護に活かす。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答率60％以上、動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答率60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名 動物病理学	科目時間総数 30　時間	教員名 落合　謙爾

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	動物病理学の概要	病理学の全体概要と役割を理解する。
2　回	病気の変遷 成立ちと変遷	病気の変遷と動物看護学の関連を理解する。
3　回	細胞の死①	壊死とアポトーシツについて理解する。
4　回	細胞の死②	物質沈着を理解する。
5　回	循環障害①	充血とうっ血の病態を理解する。
6　回	循環障害②	血栓と止血の機能を理解する。
7　回	循環障害③	栓塞と塞栓の機能を理解する。
8　回	循環障害④	ショックの機序を理解する。
9　回	循環障害⑤	リンパ液の循環障害について理解する。
10　回	退行性病変①	組織の委縮と変性を理解する。
11　回	退行性病変②	組織の病気について理解する。
12　回	進行性病変①	組織の委縮、肥大、過形成、再生について理解する。
13　回	進行性病変②	組織の再生と修復について理解する。
14　回	進行性病変③	肉芽組織、創傷、器質化、臓器移植について理解する。
15　回	炎症①	炎症の意義と５徴候を理解する。
16　回	炎症②	炎症の転機の病態を理解する。
17　回	炎症③	急性及び慢性炎症について理解する。
18　回	炎症④	滲出性炎症を理解する。
19　回	炎症⑤	カタル性炎症、出血性炎症、腐敗性炎症を理解する。
20　回	炎症⑥	慢性炎症を理解する。
21　回	先天異常①	遺伝要因における先天性異常について理解する。
22　回	先天異常②	環境要因における先天性異常について理解する。
23　回	免疫異常①	免疫異常の意義について理解する。
24　回	免疫異常②	アレルギー１－４型について理解する。
25　回	老齢性病変①	老齢性病変の形態的変化について理解する。
26　回	老齢性病変②	老齢性病変の生理的変化について理解する。
27　回	腫瘍総論①	腫瘍の定義を学び理解する。
28　回	腫瘍総論②	腫瘍の転移と再発について理解する。
29　回	腫瘍各論①	成熟型上皮性腫瘍と未成熟型上皮性腫瘍の違いについて理解する。
30　回	腫瘍各論②	肉腫と癌腫について理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　　　　科　　　　　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名　動物行動学

教員名　三上　祐太

科目時間数：　30　時間

授業の種類：　[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]

必修・選択の別：　[✓ 必修]・選択

配当学年：　3

開講時期：　前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

犬の学習理論を理解する
犬を適切に扱うことができる
イヌの問題行動の改善の対処と問題行動の予防の知識を身に付ける。
飼い主の問題行動の悩みについて、悪化させないアドバイスが出来るようになる。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1．基本的な動物看護師としての技術を獲得している

② 動物の体の構造、仕組みが理解できる

③ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4．働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

犬の学習理論
犬のハンドリング実習
犬の問題行動の種類、問題行動の改善の流れ、問題行動の改善方法、問題行動の予防

〔授業における達成課題〕

筆記試験で正答率６０％以上。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　有　・　[✓ 無]

【内　　容】

【評価方法とその内容】

筆記試験で正答率６０％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。

科目名 動物行動学	科目時間総数 30　時間	教員名 三上　祐太

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	犬の学習理論	古典的条件付けを説明できる
2 回	犬の学習理論	犬との生活の中で、古典的条件付けによる学習は何かを理解する
3 回	犬の学習理論	オペラント条件付けを理解する
4 回	犬の学習理論	正の強化、正の弱化、負の強化、負の弱化について、例文を考え、説明できる
5 回	犬の学習理論	ペットの問題行動とは何かを学ぶ。ペットの問題行動に対処ができない場合のその後を知る。
6 回	問題行動について	問題行動の種類を２種類理解し、分別することができる。
7 回	問題行動について	問題行動が起きる原因を理解する。
8 回	問題行動について	問題行動の改善の流れを理解する。
9 回	問題行動について	犬の適切な飼育方法について復習をする。
10 回	問題行動について	犬の適切な行動管理について復習をする。
11 回	問題行動について	犬の社会化期を復習する。社会化トレーニングで得られる効果を学ぶ。
12 回	問題行動について	犬の食事に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。
13 回	問題行動について	犬の運動に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。
14 回	問題行動について	犬の環境に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。
15 回	問題行動について	犬の社会的な関わりに問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。
16 回	問題行動について	犬の性的欲求に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。
17 回	問題行動について	犬の行動管理と犬の行動形成の違いを知る。
18 回	問題行動について	犬の吠えに関する対処の仕方を学ぶ。
19 回	問題行動について	犬の吠えに関する予防の仕方を学ぶ。
20 回	問題行動について	犬の噛みつきに関する対処の仕方を学ぶ。
21 回	問題行動について	犬の噛みつきに関する予防の仕方を学ぶ。
22 回	問題行動について	子犬の甘噛みの対処について、オモチャについて学ぶ。
23 回	問題行動について	他人や他犬を怖がることに関する対処の仕方を学ぶ。
24 回	問題行動について	他人や他犬を怖がることに関する予防の仕方を学ぶ。
25 回	問題行動について	トイレの失敗に関する対処の仕方を学ぶ。
26 回	問題行動について	トイレの失敗に関する予防の仕方を学ぶ。
27 回	問題行動について	留守番に関する対処の仕方を学ぶ。
28 回	問題行動について	留守番に関する問題の予防法について学ぶ。
29 回	問題行動について	拾い食いに関する対処の仕方を学ぶ。
30 回	問題行動について	拾い食いに関する予防の仕方を学ぶ。

授業計画表

愛玩動物看護師　科　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	比較動物学	**教員名**	古濱　和久
科目時間数：	60 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理方法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。

〔動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

[✓ 2.] 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物の種類及び特性を学び、産業動物、実験動物、野生動物、展示動物についての歴史や品種、特徴を理解する。

〔授業における達成課題〕
筆記試験において正答が60％以上、愛玩動物看護師試験の合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】 [✓ 有]　・　無

【内　容】

獣医師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答が60％以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示して実行する。

科目名	科目時間総数	教員名
比較動物学	60 時間	古濱　和久

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	動物の種類及び特性	愛玩動物の歴史、社会的位置づけ及び特徴について理解する
2 回	〃	産業動物の歴史、社会的位置づけ及び特徴について理解する
3 回	〃	実験動物の歴史、社会的位置づけ及び特徴について理解する
4 回	〃	展示動物の歴史、社会的位置づけ及び特徴について理解する
5 回	〃	飼養動物と野生動物を比較し、その歴史と社会的位置づけ及び特徴を理解する
6 回	〃	〃
7 回	産業動物	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴について理解する
8 回	〃	〃
9 回	〃	〃
10 回	〃	各家畜の消火器の形態と機能、食性ついて理解する
11 回	〃	〃
12 回	〃	〃
13 回	〃	各家畜の性周期と繁殖生理について理解する
14 回	〃	〃
15 回	〃	〃
16 回	〃	各家畜の飼養施設の概要について理解する
17 回	〃	〃
18 回	〃	〃
19 回	〃	各家畜の食性と飼養法について理解する
20 回	〃	〃
21 回	〃	〃
22 回	実験動物	動物実験の目的、意義について理解する
23 回	〃	〃
24 回	〃	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法について理解する
25 回	〃	〃
26 回	〃	遺伝学的制御、微生物学的制御、環境制御について理解する
27 回	〃	〃
28 回	〃	〃
29 回	〃	疾患モデル動物について理解する
30 回	〃	〃

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	野生動物	野生動物の分類と生物多様性について理解する
32 回	〃	〃
33 回	〃	鳥獣害の現状と保全の意義について理解する
34 回	〃	〃
35 回	〃	〃
36 回	〃	絶滅危惧種の定義と含まれる動物、原因、保全方法について理解する
37 回	〃	〃
38 回	〃	〃
39 回	〃	〃
40 回	〃	外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響について理解する
41 回	〃	〃
42 回	〃	〃
43 回	〃	外来生物が在来生態系に及ぼす影響への対策について理解する
44 回	〃	〃
45 回	〃	〃
46 回	展示動物	展示動物の意義と動物園等の役割について理解する
47 回	〃	〃
48 回	〃	〃
49 回	〃	動物園等における個体・群管理、行動管理について理解する
50 回	〃	〃
51 回	〃	〃
52 回	〃	〃
53 回	〃	〃
54 回	〃	動物園等の施設管理について理解する
55 回	〃	〃
56 回	〃	〃
57 回	〃	〃
58 回	まとめ	愛玩動物、産業動物、実験動物、野生動物、展示動物について比較する
59 回	〃	〃
60 回	〃	試験に向けて、今までの内容を復習する

授業計画表

愛玩動物看護師　科　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物臨床看護学各論	**教員名**	柴野　梓
科目時間数：	90 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]・演習・実習

必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**	3	**開講時期：**	[✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

チーム獣医療の場で必要な病名や診断名、各疾患の看護について学習する。また、治療方針の理解度を高め、動物看護に活かすために必要な疾病について学ぶ。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

3. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

4. 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

器官別の疾病については、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護を実践できるよう知識を身に付ける。疾病により、好発種や、好発年齢があるので、そのポイントを理解した上で各症状を理解し、さらに看護法を身に付ける。

〔授業における達成課題〕

試験試験正答率60％以上、動物看護師試験合格。

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]・無

【内　　容】

動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

筆記試験において60点以上、授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示し実行する。

科目名	科目時間総数	教員名
動物臨床看護学各論	120 時間	柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	呼吸器系疾患②	ケンネルコフ、猫の上部気道感染症群について理解し、看護に活かせる。
2 回	呼吸器系疾患③	肺炎、水胸、血胸等、様々の呼吸器疾患について理解し、看護に活かせる。
3 回	血液・造血器系疾患①	呼吸器系血液・造血器系の解剖、生理を理解する。
4 回	血液・造血器系疾患②	貧血の機序、検査方法、治療法を理解する。
5 回	血液・造血器系疾患③	非再生貧血の機序、検査方法、治療法を理解する。
6 回	血液・造血器系疾患④	リンパ節を理解する。
7 回	循環器系、呼吸器系、血液・造血器系総合①	循環器系、呼吸器系、血液・造血器系について復習により理解する。
8 回	循環器系、呼吸器系、血液・造血器系総合②	循環器系、呼吸器系、血液・造血器系について復習により理解する。
9 回	消化器系疾患①	消化管の構造、主な検査方法を理解する。
10 回	消化器系疾患②	燕下困難、流涎、口臭、吐出、嘔吐、吐血を理解する。
11 回	消化器系疾患③	下痢、血便、下血、便秘を理解する。
12 回	消化器系疾患④	巨大食道症、食道内異物を理解し、看護に活かせる。
13 回	消化器系疾患⑤	胃炎、胃内異物を理解し、看護に活かせる。
14 回	消化器系疾患⑥	急性胃拡張、胃捻転、毛球症を理解し、看護に活かせる。
15 回	消化器系疾患⑦	ウイルス感染による腸炎を理解し、看護に活かせる。
16 回	消化器系疾患⑧	ウイルス感染による腸炎を理解し、看護に活かせる。
17 回	消化器系疾患⑨	腸トリコモナス症、ジアルジア症、クリプトスポリジウム症を理解し、看護に活かせる。
18 回	消化器系疾患⑩	イレウスを理解し、看護に活かせる。
19 回	消化器系疾患⑪	腸管のヘルニアを理解し、看護に活かせる。
20 回	消化器系疾患12	腹膜炎等について理解し、看護に活かせる。
21 回	消化器系疾患⑬	炎症性ポリープ、巨大結腸症を理解し、看護に活かせる。
22 回	消化器系疾患⑭	消化器系について復習により理解する。
23 回	消化器系疾患⑮	消化器系について復習により理解する。
24 回	肝胆道系・膵外分泌系疾患①	肝胆道系・膵外分泌系の解剖、生理について理解する。
25 回	肝胆道系・膵外分泌系疾患①	肝胆道系・膵外分泌系の解剖、生理について理解する。
26 回	肝胆道系・膵外分泌系疾患②	黄疸、腹部膨満、肝性脳症について理解し、看護に活かせる。
27 回	肝胆道系・膵外分泌系疾患③	慢性進行肝炎、感染性肝炎、薬物や毒性肝炎、肝リピドーシス、先天性門脈体循環シャントを理解し、看護に活かせる。
28 回	肝胆道系・膵外分泌系疾患④	膵炎、膵外分泌不全について理解し、看護に活かせる。
29 回	肝胆道系・膵外分泌系疾患⑤	消化器系、肝胆道系・膵外分泌系について復習により理解する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
30　回	泌尿器系疾患①	泌尿器系の局所解剖と生理、主な検査方法、主な症状について理解する。
31　回	泌尿器系疾患②	急性腎不全について理解し、看護に活かせる。
32　回	泌尿器系疾患③	慢性腎不全について理解し、看護に活かせる。
33　回	泌尿器系疾患④	猫の下部尿路器疾患について理解し、看護に活かせる。
34　回	泌尿器系疾患⑤	犬の尿石疾について理解し、看護に活かせる。
35　回	泌尿器系疾患⑥	ネフローゼ症候群について理解し、看護に活かせる。
36　回	泌尿器系疾患⑦	糖尿病症腎症について理解し、看護に活かせる。
37　回	泌尿器系疾患⑧	アミロイド腎症について理解し、看護に活かせる。
38　回	泌尿器系疾患⑨	腎症性崩症について理解し、看護に活かせる。
39　回	内分泌系疾患①	尿道狭窄について理解し、看護に活かせる。
40　回	内分泌系疾患②	内分泌系の局所解剖と生理、視診、血液検査、尿検査について理解する。
41　回	内分泌系疾患③	甲状腺の疾病を理解し、看護に活かせる。
42　回	内分泌系疾患④	副腎の疾病を理解し、看護に活かせる。
43　回	内分泌系疾患⑤	膵臓の疾病を理解し、看護に活かせる。
44　回	生殖器系疾患①	生殖器系の局所解剖と生理について理解する。
45　回	生殖器系疾患②	生殖器系の検査方法を理解する。
46　回	生殖器系疾患③	子宮蓄膿症を理解し、看護に活かせる。
47　回	生殖器系疾患④	乳腺腫瘍等を理解し、看護に活かせる。
48　回	生殖器系疾患⑤	持続性発情、子宮内膜過形成等を理解し、看護に活かせる。
49　回	生殖器系疾患⑥	子捻転、子宮破裂等を理解し、看護に活かせる。
50　回	生殖器系疾患⑦	胎盤停滞、胎盤部分退縮不全等を理解し、看護に活かせる。
51　回	生殖器系疾患⑧	前立腺肥大を理解し、看護に活かせる。
52　回	生殖器系疾患⑨	潜在精巣等を理解し、看護に活かせる。
53　回	生殖器系疾患⑩	前立腺炎等を理解し、看護に活かせる。
54　回	生殖器系疾患⑪	生殖器系の疾患について理解し、看護に活かせる。
55　回	生殖器系疾患⑫	生殖器系の疾患について理解し、看護に活かせる。
56　回	整形外科疾患①	整形外科疾患の局所解剖と生理について理解する。
57　回	整形外科疾患②	整形外科の検査方法を理解する。
58　回	整形外科疾患③	骨折を理解し、看護に活かせる。
59　回	整形外科疾患④	膝蓋骨脱臼を理解し、看護に活かせる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
60 回	整形外科疾患⑤	前十字靭帯断絶、後十字靭帯断裂症を理解し、看護に活かせる。
61 回	整形外科疾患⑥	側副靭帯断絶、半月板損傷を理解し、看護に活かせる。
62 回	整形外科疾患⑦	股関節形成不全、レッグペルテス病を理解し、看護に活かせる。
63 回	整形外科疾患⑧	肘関節形成不全等を理解し、看護に活かせる。
64 回	整形外科疾患⑨	肩関節形成不全、アキレス腱断裂等を理解し、看護に活かせる。
65 回	整形外科疾患⑩	剥離性骨軟骨症等を理解し、看護に活かせる。
66 回	整形外科疾患⑪	尺骨遠位成長板早期閉鎖を理解し、看護に活かせる。
67 回	神経系疾患①	神経系疾患の局所解剖と生理について理解する。
68 回	神経系疾患②	神経系疾患の検査方法を理解する。
69 回	神経系疾患③	椎間板ヘルニアの分類（ハンセンⅠ型、ハンセンⅡ型）について理解し、看護に活かせる。
70 回	神経系疾患④	椎間板ヘルニアの検査方法、治療方法について理解し、看護に活かせる。
71 回	神経系疾患⑤	椎間板ヘルニアの機樹及び症状について理解し、看護に活かせる。
72 回	神経系疾患⑥	水頭症について理解し、看護に活かせる。
73 回	神経系疾患⑦	てんかんについて理解し、看護に活かせる。
74 回	神経系疾患⑧	変性性腰仙部狭窄症を理解し、看護に活かせる。
75 回	神経系疾患⑨	ウォブラー症候群について理解し、看護に活かせる。
76 回	神経系疾患⑩	キアリ様奇形、脊髄空洞症等を理解し、看護に活かせる。
77 回	神経系疾患⑪	環椎軸椎脱臼について理解し、看護に活かせる。
78 回	神経系疾患⑫	脊椎奇形について理解し、看護に活かせる。
79 回	腫瘍性疾患①	腫瘍の分類（良性、悪性腫瘍）について理解する。
80 回	腫瘍性疾患②	腫瘍の検査方法を理解する。
81 回	腫瘍性疾患③	腫瘍の治療法(抗がん剤、放射線治療、外科治療)について理解し、看護に活かせる。
82 回	腫瘍性疾患④	腫瘍の治療法(抗がん剤、放射線治療、外科治療)について理解し、看護に活かせる。
83 回	終末期疾患①	様々な疾患における終末期の看護を理解する。
84 回	終末期疾患②	様々な疾患における終末期の看護を理解する。
85 回	動物疾病看護学総まとめ①	バイタルサイン、身体検査、口腔疾患、感覚器疾患を復習して理解する。
86 回	動物疾病看護学総まとめ②	循環器系疾患、呼吸器疾患、血液・造血器疾患を復習して理解する。
87 回	動物疾病看護学総まとめ③	消化器系疾患、肝胆道系・膵臓疾患を復習して理解する。
88 回	動物疾病看護学総まとめ④	泌尿器系疾患、内分泌系疾患、生殖器系疾患を復習して理解する。
89 回	動物疾病看護学総まとめ④	泌尿器系疾患、内分泌系疾患、生殖器系疾患を復習して理解する。
90 回	動物疾病看護学総まとめ⑤	整形外科疾患、神経系疾患、腫瘍疾患を復習して理解する。

授業計画表

愛玩動物看護師　　　**科**　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	動物臨床看護学実習	**教員名**	柴野　梓
科目時間数：	30　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：**　3	**開講時期：**　前期・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕
動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
動物看護過程の実践、入院および栄養管理について学ぶ

〔授業における達成課題〕
筆記試験での正答60％以上、動物看護師試験合格

	使用教材	出版社
学生用	動物看護コアテキスト	ファームプレス

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある

【評価方法とその内容】

筆記試験において正答60％以上、授業出席率８０％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業に向けて教科書をによる予習を指示し実行する。

科目名 動物臨床看護学実習	科目時間総数 30 時間	教員名 柴野　梓

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	動物看護過程の実践	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する
2 回	動物看護過程の実践	看護動物の生活環境が健康に及ぼす影響を理解する
3 回	動物看護過程の実践	症状や入院、治療が看護動物と家族に及ぼす影響を理解する
4 回	動物看護過程の実践	看護動物の看護上の問題を理解し、優先順位を付けることができる
5 回	動物看護過程の実践	動物看護計画を作成できる
6 回	動物看護過程の実践	動物看護記録を作成できる
7 回	動物看護過程の実践	終末期疾患についての動物看護過程の演習を行う
8 回	入院および栄養管理	入院動物の管理、アセスメントができる
9 回	入院および栄養管理	入院動物の管理、アセスメントができる
10 回	入院および栄養管理	ケージの清掃、管理ができる
11 回	入院および栄養管理	ケージの清掃、管理ができる
12 回	入院および栄養管理	ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる
13 回	入院および栄養管理	ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる
14 回	入院および栄養管理	栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
15 回	入院および栄養管理	栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
16 回	入院および栄養管理	栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
17 回	入院および栄養管理	褥瘡を持つ動物の看護ができるようになる
18 回	入院および栄養管理	褥瘡を持つ動物の看護ができるようになる
19 回	入院および栄養管理	ケージの清掃、管理ができる
20 回	入院および栄養管理	ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる
21 回	入院および栄養管理	ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる
22 回	入院および栄養管理	栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
23 回	入院および栄養管理	栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
24 回	入院および栄養管理	栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
25 回	入院および栄養管理	褥瘡を持つ動物の看護ができるようになる
26 回	入院および栄養管理	褥瘡を持つ動物の看護ができるようになる
27 回	入院および栄養管理	褥瘡を持つ動物の看護ができるようになる
28 回	入院および栄養管理	入院および栄養管理について実践できる
29 回	入院および栄養管理	入院および栄養管理について実践できる
30 回	入院および栄養管理	まとめ

授業計画表

愛玩動物看護師　科　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅲ（動物看護実習）	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	105 時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかをペットショップ、ペットサロン、動物病院などで体験、実習をする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

インターンシップ（職場実習）として、ペットショップ、ペットサロン、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。

〔授業における達成課題〕

動物関連業界への就職を実現するだけではなく、業界での活躍を目指す。
動物看護師資格の合格

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院にて動物看護師としての勤務経験がある

【評価方法とその内容】

授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の実習授業に向けて、実施内容の確認を指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅲ（動物看護実習）	科目時間総数 105 時間	教員名 高坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
2 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
3 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
4 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
5 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
6 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
7 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
8 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
9 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
10 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
11 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
12 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
13 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
14 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
15 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
16 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
17 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
18 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
19 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
20 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
21 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
22 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
23 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
24 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
25 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
26 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
27 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
28 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
29 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
30 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
32 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
33 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
34 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
35 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
36 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
37 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
38 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
39 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
40 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
41 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
42 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
43 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
44 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
45 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
46 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
47 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
48 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
49 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
50 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
51 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
52 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
53 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
54 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
55 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
56 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
57 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
58 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
59 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
60 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
62 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
63 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
64 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
65 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
66 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
67 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
68 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
69 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
70 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
71 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
72 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
73 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
74 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
75 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
76 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
77 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
78 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
79 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
80 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
81 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
82 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
83 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
84 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
85 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
86 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
87 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
88 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
89 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
90 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
92 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
93 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
94 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
95 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
96 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
97 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
98 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
99 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
100 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
101 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
102 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
103 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
104 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習
105 回	看護実習	現場でのインターンシップ実習

授業計画表

愛玩動物看護師　　科　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅲ（基礎学力・就職実務）	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	20　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・後期・集中

〔授業の目的・ねらい〕
ペット業界で活躍するために必要な能力の向上を目的とする。
周囲と協働し、自ら気づき、考え、行動する能力を磨く。
自己目標の達成の方法を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
　ビジネスマナー、校内外の活動、基礎学力の向上、人間性の向上を養うため、座学、実践型授業を実施する。

〔授業における達成課題〕
動物看護師資格の合格。
就職内定。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】[✓ 有]　・　無

【内　　容】
動物看護師として動物病院に勤務経験がある。

【評価方法とその内容】

授業出席率80％以上。

【必要な予習等の内容】

次回の授業について、プリント等を活用して復習や予習を指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅲ（基礎学力・就職実務）	科目時間総数 20　時間	教員名 高坂　恵梨香

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
2　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
3　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
4　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
5　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
6　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
7　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
8　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
9　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
10　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
11　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
12　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
13　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
14　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
15　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
16　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
17　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
18　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
19　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る
20　回	基礎学力	漢字の読み書き、計算問題を解き、基礎学力の向上を図る

授業計画表

愛玩動物看護師　　　科　　　　　　MCL盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅲ （インターンシップ実習）	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	90　時間	**授業の種類：**	講義　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** 前期・後期・[✓ 集中]

〔授業の目的・ねらい〕
修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかをペットショップ、ペットサロン、動物病院などで体験、実習をする。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

[✓ 1.] 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕
インターンシップ（職場実習）として、ペットショップ、ペットサロン、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。

〔授業における達成課題〕
動物関連業界への就職を実現するだけではなく、業界での活躍を目指す。
動物看護師資格の合格。

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院にて動物看護師として勤務経験がある

【評価方法とその内容】
実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）

【必要な予習等の内容】

翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。

科目名 ペットビジネス教養Ⅲ（インターンシップ実習）		科目時間総数 90　時間	教員名 髙坂　恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
2　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
3　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
4　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
5　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
6　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
7　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
8　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
9　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
10　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
11　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
12　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
13　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
14　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
15　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
16　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
17　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
18　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
19　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
20　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
21　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
22　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
23　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
24　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
25　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
26　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
27　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
28　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
29　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	
30　回	インターンシップ （職場実習）	現場でのインターンシップ実習	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
32 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
33 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
34 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
35 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
36 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
37 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
38 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
39 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
40 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
41 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
42 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
43 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
44 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
45 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
46 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
47 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
48 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
49 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
50 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
51 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
52 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
53 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
54 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
55 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
56 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
57 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
58 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
59 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
60 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
62 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
63 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
64 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
65 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
66 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
67 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
68 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
69 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
70 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
71 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
72 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
73 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
74 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
75 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
76 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
77 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
78 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
79 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
80 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
81 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
82 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
83 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
84 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
85 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
86 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
87 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
88 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
89 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習
90 回	インターンシップ（職場実習）	現場でのインターンシップ実習

授業計画表

愛玩動物看護師　　　科　　　　　　　　　　ＭＣＬ盛岡ペットワールド専門学校

科目名	ペットビジネス教養Ⅲ (学校行事・資格)	**教員名**	高坂　恵梨香
科目時間数：	85　時間	**授業の種類：**	[✓ 講義]　・　演習　・　[✓ 実習]
必修・選択の別　：	[✓ 必修]・選択	**配当学年：** 3	**開講時期：** [✓ 前期]・[✓ 後期]・集中

〔授業の目的・ねらい〕

学校生活を実りあるものにするための考え方を学ぶ。
社会人に必要となる社会人基礎寮力を磨き、社会で働く心構えを身に付ける。
上級学生としての心構えを持ち、後輩の指導をする能力を身に付ける。

〔愛玩動物看護師科ディプロマポリシーとの関連〕

1. 基本的な動物看護師としての技術を獲得している

2. 動物の体の構造、仕組みが理解できる

[✓ 3.] 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる

[✓ 4.] 働くという事への心構えが出来ている

〔授業全体の内容の概要〕

　オリエンテーション、基礎学力、学校行事、国内研修、接客コンテスト、スポーツ大会、ボランティア活動

〔授業における達成課題〕

学校行事等を通じて、目標達成やその過程を経験して日常生活や就職後の活動で活躍できる

	使用教材	出版社
学生用	プリント等	

【教員担当の実務経験の有無】　[✓ 有]　・　無

【内　　容】

動物病院にて動物看護師としての勤務経験がある

【評価方法とその内容】

受講姿勢と取組み成果、レポート、授業出席率８0%以上。

【必要な予習等の内容】

行事等について、事前に担当分野の内容を打ち合わせをして授業に参加することを指示して実行する。

科目名 ペットビジネス教養Ⅲ（学校行事・資格）		科目時間総数 85 時間	教員名 髙坂　恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	就職活動	就職ガイダンス	
2 回	就職活動	就職ガイダンス	
3 回	就職活動	就職ガイダンス	
4 回	就職活動	就職ガイダンス	
5 回	就職活動	就職ガイダンス	
6 回	就職活動	就職ガイダンス	
7 回	就職活動	就職ガイダンス	
8 回	就職活動	就職ガイダンス	
9 回	就職活動	就職ガイダンス	
10 回	就職活動	就職ガイダンス	
11 回	行事	学生交流会	
12 回	行事	学生交流会	
13 回	行事	学生交流会	
14 回	行事	学生交流会	
15 回	行事	学生交流会	
16 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
17 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
18 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
19 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
20 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
21 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
22 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
23 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
24 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
25 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
26 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
27 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
28 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
29 回	行事	ドッグフェスティバル準備	
30 回	行事	ドッグフェスティバル準備	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	行事	ドッグフェスティバル準備
32 回	行事	ドッグフェスティバル準備
33 回	行事	ドッグフェスティバル準備
34 回	行事	ドッグフェスティバル準備
35 回	行事	ドッグフェスティバル準備
36 回	行事	ドッグフェスティバル
37 回	行事	ドッグフェスティバル
38 回	行事	ドッグフェスティバル
39 回	行事	ドッグフェスティバル
40 回	行事	ドッグフェスティバル
41 回	行事	ドッグフェスティバル
42 回	行事	ドッグフェスティバル
43 回	行事	ドッグフェスティバル
44 回	行事	ドッグフェスティバル
45 回	行事	ドッグフェスティバル
46 回	行事	ドッグフェスティバル振り返り反省
47 回	行事	スポーツ大会
48 回	行事	スポーツ大会
49 回	行事	スポーツ大会
50 回	行事	スポーツ大会
51 回	行事	スポーツ大会
52 回	行事	スポーツ大会
53 回	行事	スポーツ大会　振り返り反省
54 回	行事	学園祭準備
55 回	行事	学園祭準備
56 回	行事	学園祭準備
57 回	行事	学園祭準備
58 回	行事	学園祭準備
59 回	行事	学園祭
60 回	行事	学園祭

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	行事	学園祭
62 回	行事	学園祭
63 回	行事	学園祭
64 回	行事	学園祭
65 回	行事	学園祭　振り返り反省
66 回	特別授業	国内研修
67 回	特別授業	国内研修
68 回	特別授業	国内研修
69 回	特別授業	国内研修
70 回	特別授業	国内研修
71 回	特別授業	国内研修
72 回	特別授業	国内研修
73 回	特別授業	国内研修
74 回	特別授業	国内研修
75 回	特別授業	国内研修
76 回	特別授業	国内研修
77 回	特別授業	国内研修
78 回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
79 回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
80 回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
81 回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
82 回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
83 回	行事	ＭＣＬスポーツ大会
84 回	振り返り	今までの振り返り
85 回	今後の目標	今後の目標決め